

# 資料編



(1) 関西国際空港に係る環境監視結果

表2-3-1(1) 二酸化硫黄の測定結果

所在地	測定局	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (ppm)	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値 (ppm)	日平均値の2%除外値 (ppm)	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続したことの有無 有× 無○	環境基準の長期的評価による日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)
					(時間)	(%)	(日)	(%)				
泉佐野市	大阪府所管佐野中学校(羽倉崎)	363	8554	0.001	0	0	0	0	0.015	0.004	○	0
参考値(大阪府所管一般局)												
高石市	高石中学校	358	8559	0.006	0	0	0	0	0.035	0.011	○	0
岸和田市	岸和田中央公園	363	8560	0.001	0	0	0	0	0.022	0.004	○	0

(注) 1. 大阪府所管佐野中学校については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」を活用し、平成21年4月1日から平成22年3月31日までのデータを用いた。

表2-3-1(2) 一酸化窒素及び窒素酸化物の測定結果

所在地	測定局	一酸化窒素 (NO)					窒素酸化物 (NO+NO2)					
		有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	有効測定日数	測定時間	年平均値	1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	年平均値
												NO <sub>x</sub> (NO+NO <sub>2</sub> )
		日	時間	ppm	ppm	ppm	日	時間	ppm	ppm	ppm	%
泉南市	C(りんくう南浜)	360	8539	0.004	0.107	0.021	360	8539	0.017	0.175	0.055	76.8
泉佐野市	大阪府所管佐野中学校(羽倉崎)	361	8563	0.003	0.089	0.016	361	8563	0.017	0.172	0.046	80.9
阪南市	L-2(箱作)	360	8552	0.002	0.086	0.010	360	8552	0.012	0.149	0.033	83.2
参考値(大阪府所管一般局)												
高石市	高石中学校	362	8622	0.005	0.127	0.030	362	8622	0.022	0.195	0.068	77.8
泉大津市	泉大津市役所	346	8395	0.004	0.161	0.029	346	8395	0.022	0.282	0.067	81.3
貝塚市	貝塚市消防署	361	8555	0.002	0.078	0.013	361	8555	0.015	0.165	0.042	83.4
泉南市	泉南市役所	362	8560	0.004	0.102	0.017	362	8560	0.017	0.141	0.047	77.8
和泉市	緑ヶ丘小学校	362	8551	0.002	0.069	0.006	362	8551	0.011	0.151	0.027	85.5
岸和田市	岸和田中央公園	362	8607	0.003	0.107	0.018	362	8607	0.018	0.174	0.050	81.1
阪南市	南海団地	359	8543	0.001	0.052	0.005	359	8543	0.009	0.102	0.029	89.9
参考値(大阪府所管自排局)												
泉佐野市	末広公園	363	8618	0.016	0.169	0.047	363	8618	0.034	0.215	0.081	54.6
岸和田市	天の川下水ポンプ場	362	8547	0.017	0.217	0.050	362	8547	0.041	0.331	0.090	58.1
高石市	カモドールMB S	362	8586	0.017	0.208	0.057	362	8586	0.039	0.252	0.096	57.2

(注) 1. 大阪府所管佐野中学校については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」を活用し、平成21年4月1日から平成22年3月31日までのデータを用いた。

表2-3-1(3) 光化学オキシダントの測定結果

所在地	測定局	昼間	昼間	昼間の1	昼間の1時間値が		昼間の1時間値が		昼間の1	昼間の日
		測定日数	測定時間	時間値の	0.06ppmを超えた日		0.12ppm以上の日数		時間値の	最高1時
		日	時間	年平均値	日	時間	日	時間	ppm	間値の年
				ppm						間値の年
泉佐野市	大阪府所管佐野中学校(羽倉崎)	365	5330	0.035	112	543	0	0	0.118	0.052
参考値(大阪府所管一般局)										
高石市	高石中学校	360	5289	0.037	130	761	3	11	0.148	0.056
泉大津市	泉大津市役所	365	5404	0.034	107	565	2	8	0.148	0.052
貝塚市	貝塚市消防署	365	5377	0.038	130	719	5	11	0.147	0.056
泉南市	泉南市役所	365	5402	0.036	121	625	2	4	0.132	0.053
和泉市	緑ヶ丘小学校	365	5377	0.039	129	788	5	13	0.147	0.056
岸和田市	岸和田中央公園	353	5144	0.037	120	670	2	7	0.144	0.055
阪南市	南海団地	365	5390	0.041	126	697	3	4	0.135	0.055

(注) 1. 大阪府所管佐野中学校については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」を活用し、平成21年4月1日から平成22年3月31日までのデータを用いた。

表2-3-1(4) 非メタン炭化水素の測定結果

所在地	測定局	測定時間	年平均値	6～9時 における 年平均値	6～9時 測定日数	6～9時3時間平均値		6～9時3時間平均 値が0.20ppmCを 超えた日数とその 割合		6～9時3時間平均 値が0.31ppmCを 超えた日数とその 割合	
						最高値	最低値	日	%	日	%
						ppmC	ppmC	日	%	日	%
泉佐野市	大阪府所管佐野中学校(羽倉崎)	8340	0.15	0.17	357	0.63	0.04	113	31.7	22	6.2
参考値(大阪府所管一般局)											
貝塚市	貝塚市消防署	7994	0.16	0.17	348	0.49	0.05	107	30.7	23	6.6
岸和田市	岸和田中央公園	7679	0.15	0.16	336	0.47	0.05	78	23.2	22	6.5
参考値(大阪府所管自排局)											
高石市	カモドールMBS	7945	0.25	0.31	349	0.88	0.03	254	72.8	149	42.7

(注) 1. 大阪府所管佐野中学校については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」を活用し、平成21年4月1日から平成22年3月31日までのデータを用いた。

表2-3-1(5) メタン及び全炭化水素の測定結果

所在地	測定局	メタン						全炭化水素					
		測定時間	年平均値	6～9時 における 年平均値	6～9時 測定日数	6～9時3時間平均値		測定時間	年平均値	6～9時 における 年平均値	6～9時 測定日数	6～9時3時間平均値	
						最高値	最低値					最高値	最低値
		時間	ppmC	ppmC	日	ppmC	ppmC	時間	ppmC	ppmC	日	ppmC	ppmC
泉佐野市	大阪府所管佐野中学校(羽倉崎)	8340	1.89	1.90	357	2.04	1.73	8340	2.04	2.08	357	2.63	1.84
参考値(大阪府所管一般局)													
貝塚市	貝塚市消防署	7994	1.93	1.95	348	2.12	1.78	7994	2.09	2.13	348	2.58	1.84
岸和田市	岸和田中央公園	7679	1.89	1.91	336	2.05	1.71	7679	2.04	2.07	336	2.47	1.77
参考値(大阪府所管自排局)													
高石市	カモドールMBS	7945	1.93	1.95	349	2.11	1.77	7945	2.18	2.26	349	2.97	1.89

(注) 1. 大阪府所管佐野中学校については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」を活用し、平成21年4月1日から平成22年3月31日までのデータを用いた。

風向別出現頻度及び風向別平均風速

測定局名： C (りんくう西浜)  
 期間： 2009年 4月 1日～2010年 3月31日

項目	方位																CALM	平均値	合計
	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW				
出現回数 (回)	678	630	413	256	389	330	692	505	264	205	424	784	347	517	325	416	188		8758
出現割合 (%)	7.8	7.2	4.7	2.9	4.4	3.9	10.2	6.3	3.1	2.4	5.0	9.1	4.0	5.9	3.7	4.7	2.2		100.0
平均風速 (m/s)	3.8	4.1	2.8	2.1	1.7	1.5	1.5	1.5	3.0	3.4	3.2	4.5	4.8	3.7	3.5	3.2	3.3		3.0

注：CALM：静穏 (風速 0.4 m/s 以下) を示す。

風配区と風向別平均風速

凡例

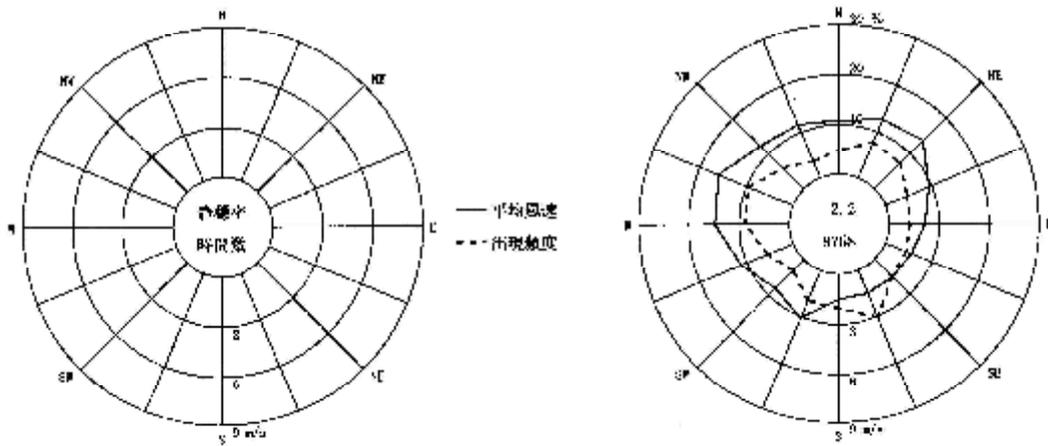


図2-3-1(1-1) 気象 (風向・風速) の観測結果

風向別出現頻度及び風向別平均風速

測定局名：大阪府所管佐野中学校  
 期 間：2009年 4月 1日～2010年 3月31日

項目	方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	不明数	合計
出現回数 (回)		571	609	504	420	528	518	910	882	811	284	313	713	901	746	781	346	264		8760
出現頻度 (%)		6.5	7.0	5.8	4.8	6.0	7.0	9.6	9.9	6.9	3.2	3.6	8.1	10.3	8.5	8.9	3.9	2.9		100.0
平均風速 (m/s)		2.8	2.5	2.0	1.5	1.3	1.1	1.2	1.1	2.8	1.8	1.6	2.2	3.1	2.6	2.8	3.0	0.3	2.2	

注) CALM: 静穏 (風速 0.4 m/s 以下) を示す。

風向図と風向別平均風速

凡例

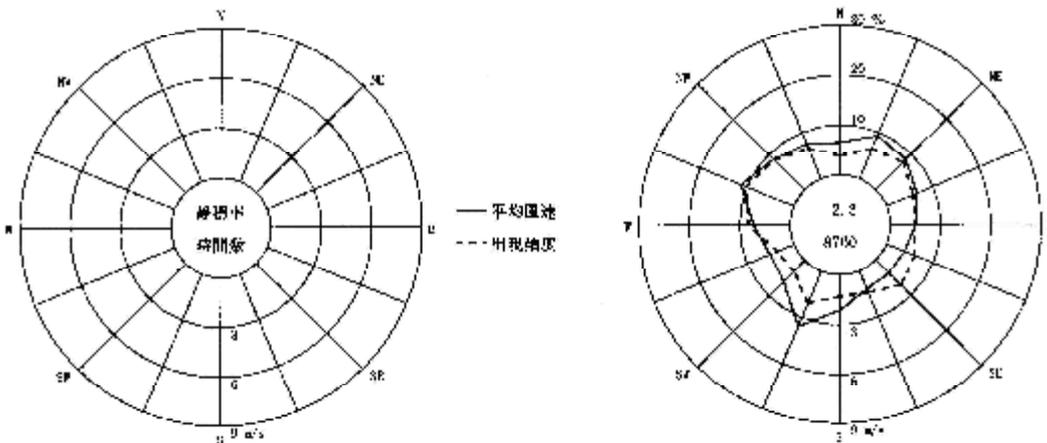


図2-3-1(1-2) 気象（風向・風速）の観測結果

### 風向別出現頻度及び風向別平均風速

測定局名：L-2（箱作）  
期 限：2009年 4月 1日～2010年 3月31日

項目	方位																計値	合計
	ENE	NE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WSW	WV	WNW	NW	WNW		
出現回数 (回)	513	660	434	394	412	420	667	846	741	328	247	445	953	631	480	229	109	3759
出現風速 (m/s)	6.9	7.6	6.2	4.4	4.7	4.8	6.4	3.6	3.5	3.8	2.8	3.1	10.9	7.2	5.3	3.8	1.9	501.8
平均風速 (m/s)	4.4	3.5	3.6	3.5	2.3	2.0	2.3	3.2	6.1	2.4	2.1	4.3	6.3	4.7	3.9	4.5	6.3	4.4

①) CALM・静穏 (風速 0.4 m/s 以下) を示す。

### 風配図と風向別平均風速

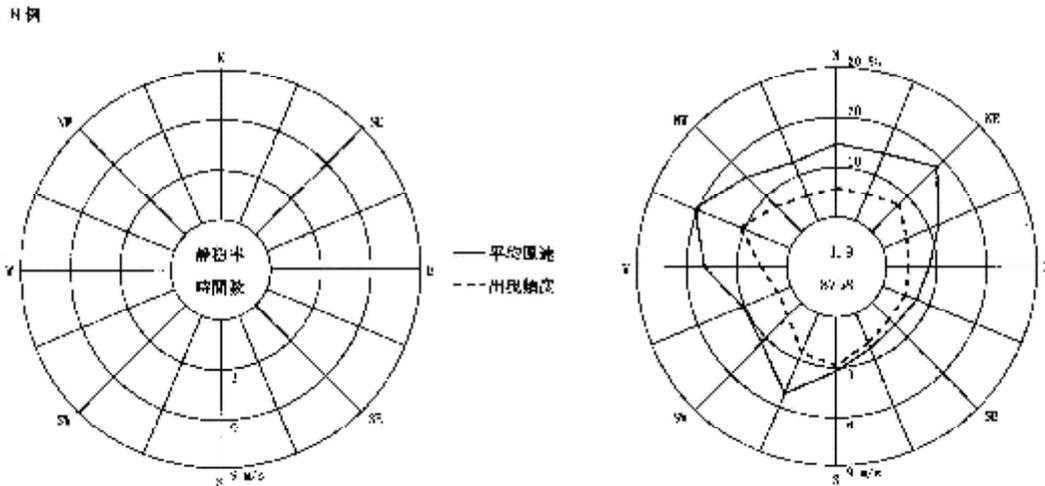
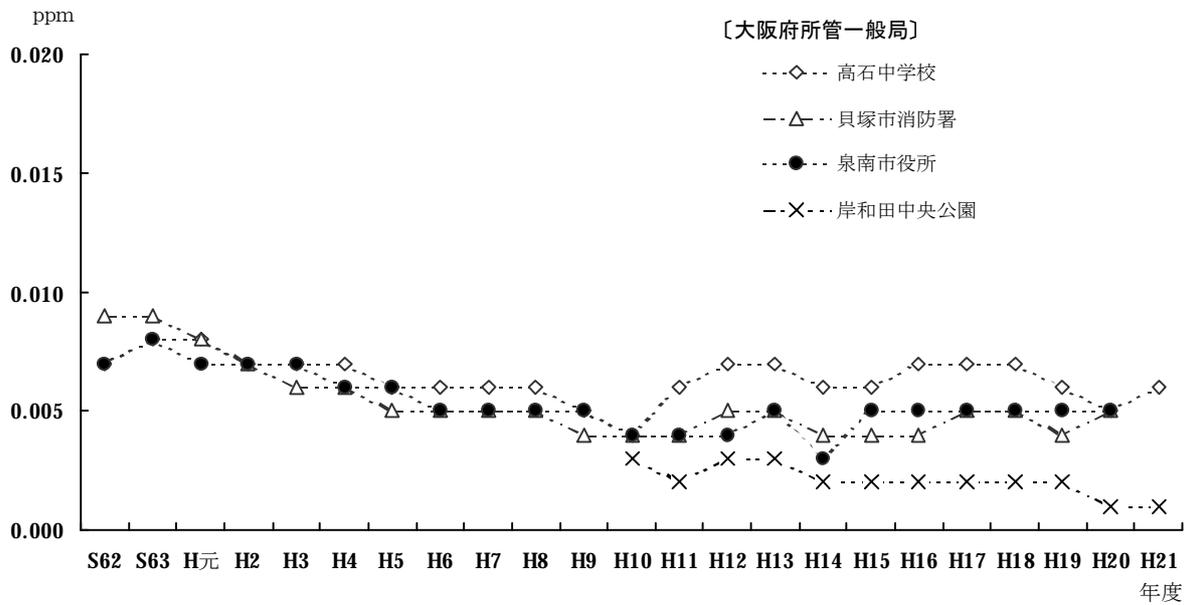
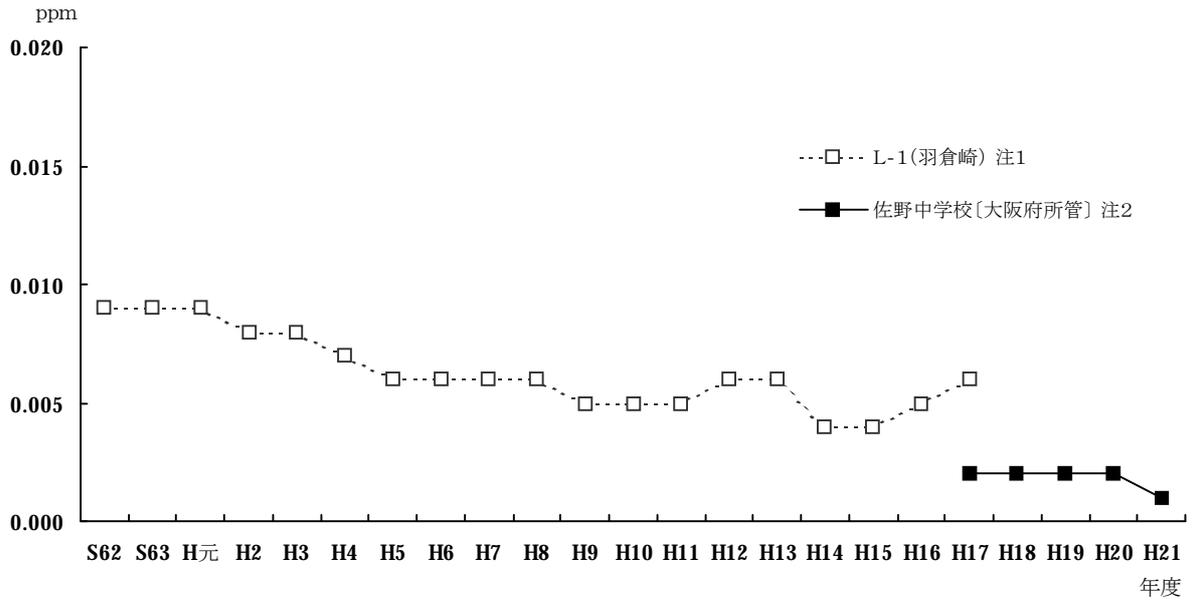
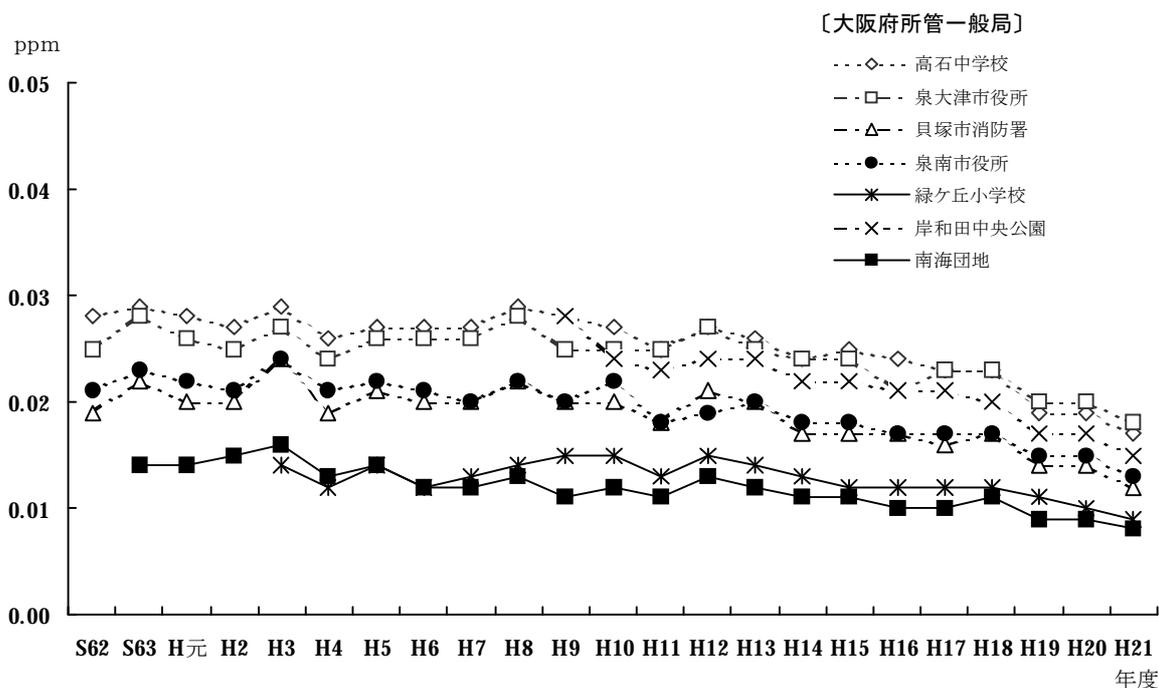
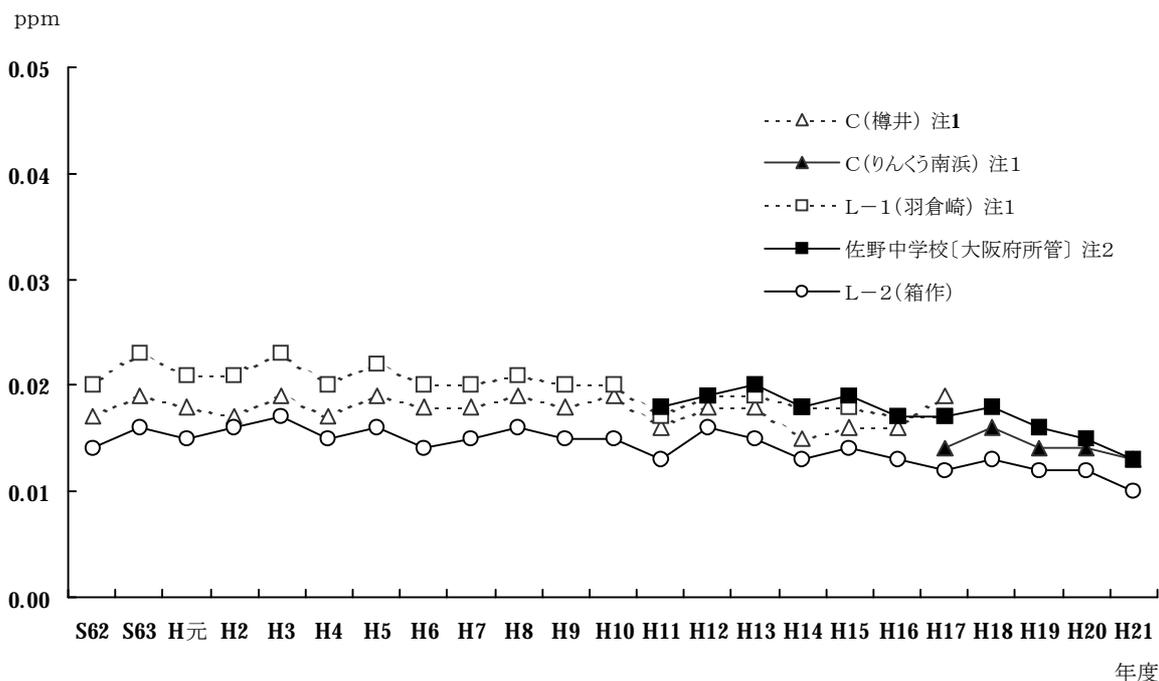


図2-3-1(1-3) 気象（風向・風速）の観測結果



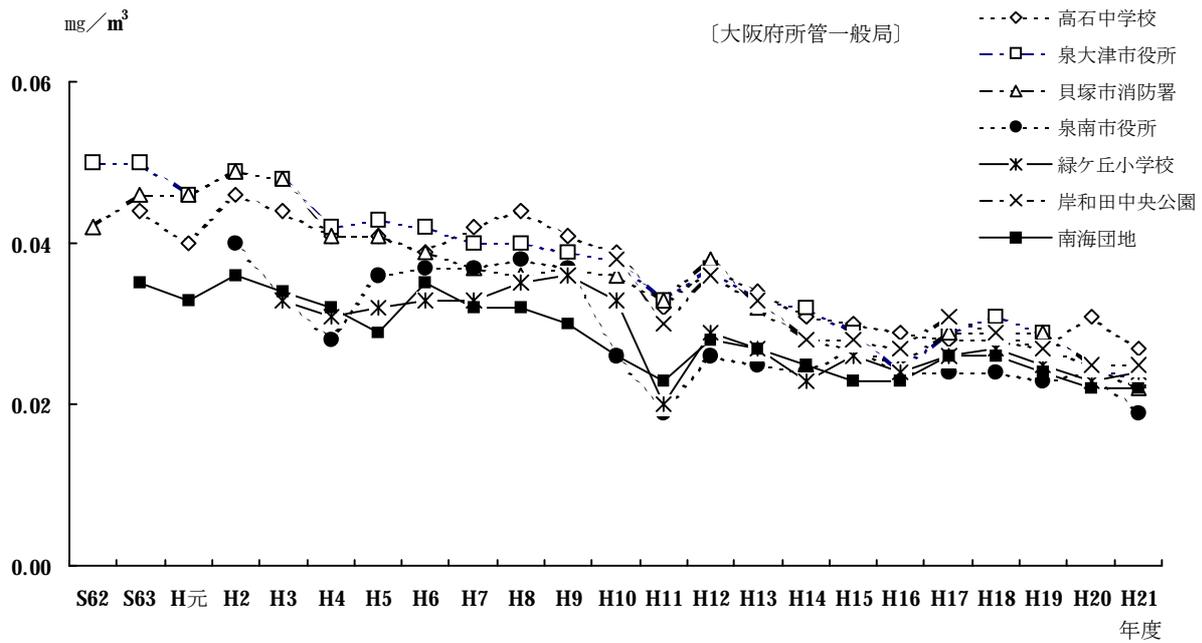
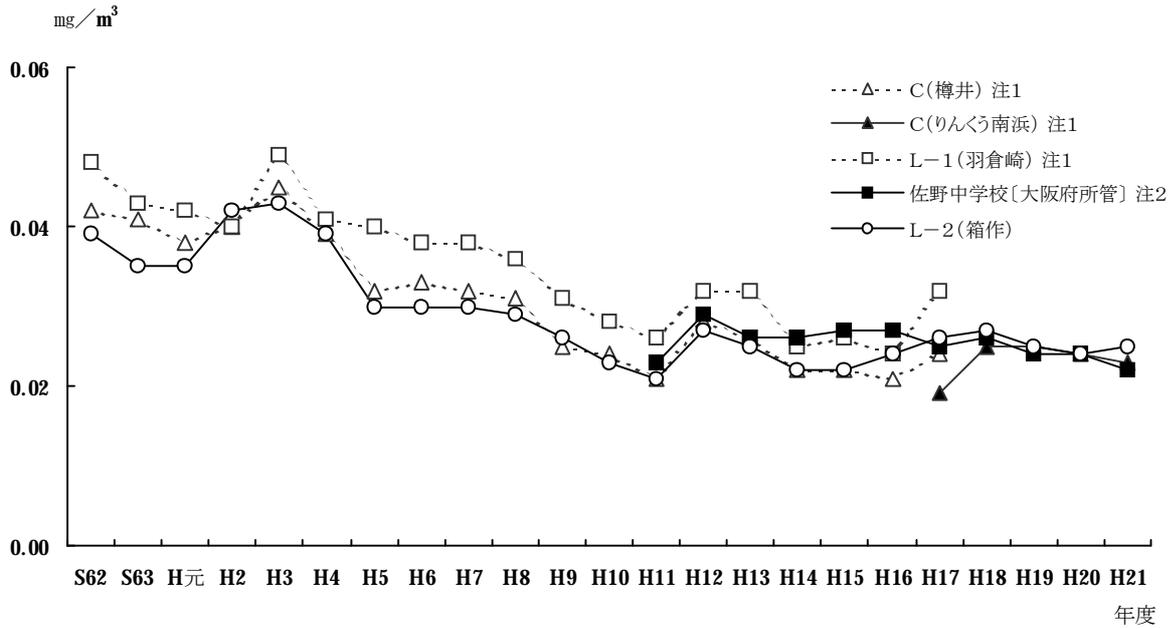
- (注) 1. 測定期間：L-1（羽倉崎）については平成17年9月21日まで。  
 2. 大阪府所管佐野中学校局については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」より、平成17年12月1日から平成22年3月31日までのデータを活用した。

図2-3-1(2) 二酸化硫黄濃度(年平均値)の経年変化



- (注) 1. 測定期間：C（樽井）は平成17年6月9日まで、C（りんくう南浜）は平成17年6月16日から、L-1（羽倉崎）は平成17年9月21日まで。  
2. 大阪府所管佐野中学校局については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」より、平成17年度から平成21年度までのデータを活用した。

図2-3-1(3) 二酸化窒素濃度(年平均値)の経年変化



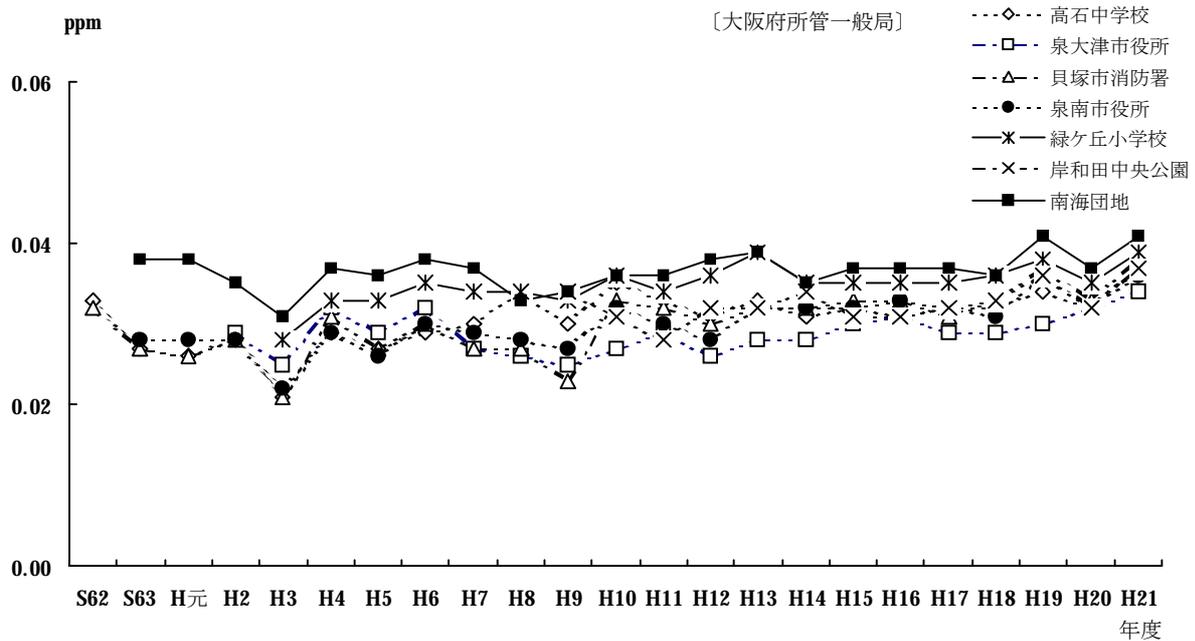
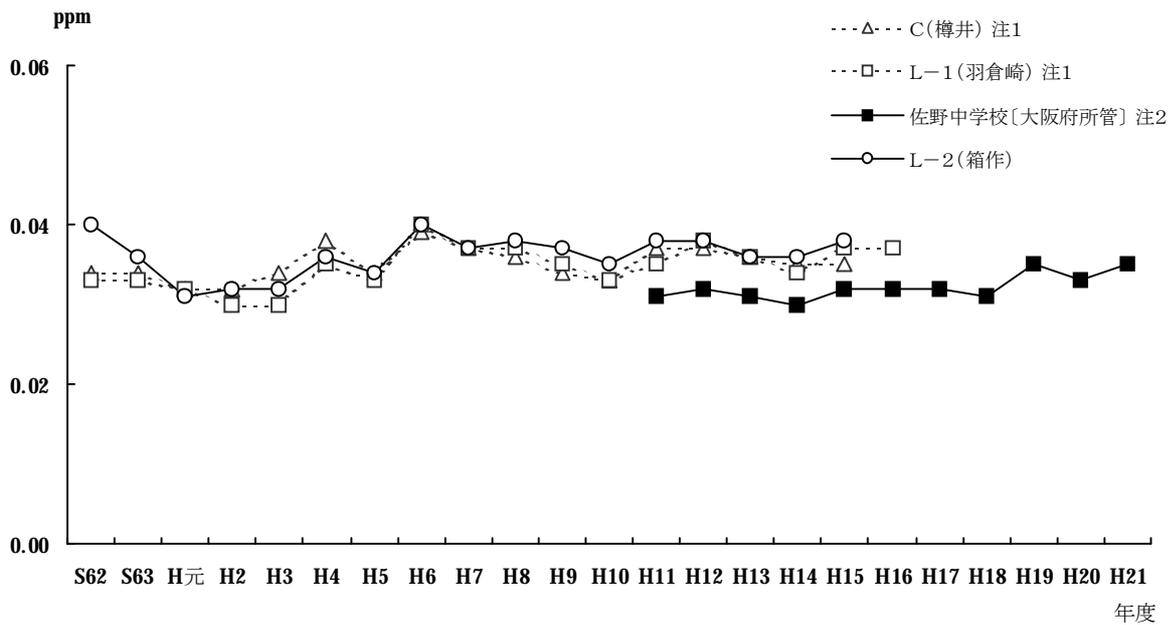
(注) 1. 測定期間：C（樽井）は平成17年6月9日まで、C（りんくう南浜）は平成17年6月16日から、L-1（羽倉崎）は平成17年9月21日まで。  
 2. 大阪府所管佐野中学校局については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」より、平成17年度から平成21年度までのデータを活用した。

図2-3-1(4) 浮遊粒子状物質濃度(年平均値)の経年変化

表2-3-1(6) 黄砂観測状況

黄砂観測日	全国観測地点数
平成21年12月26日	29
平成22年 3月14日	5
平成22年 3月16日	27
平成22年 3月21日	63

- (注)
1. 気象庁ホームページの黄砂観測日及び観測地点一覧より大阪府（大阪管区气象台）で黄砂が観測された日を抜粋
  2. 「全国観測地点数」は、全国の67の気象観測所のうち黄砂の観測された地点数
  3. 黄砂の観測は、空中に浮遊した黄砂で大気が混濁した状態を観測者が目視で確認した場合、「黄砂観測日」とされている。黄砂観測日は、視程により4段階（2km未満、2～5km、5～10km、10km以上）に区分して公表されているが、本表では視程の長短にかかわらず、黄砂の観測があった日を集計している。



(注) 1. 測定期間：C（樽井）及びL-2（箱作）は平成15年まで、L-1（羽倉崎）は平成16年まで。  
 2. 大阪府所管佐野中学校局については、「大阪府地域大気汚染常時監視測定データファイル」より、平成17年度から平成21年度までのデータを活用した。

図2-3-1(5) 光化学オキシダント濃度(昼間の1時間値の年平均値)の経年変化

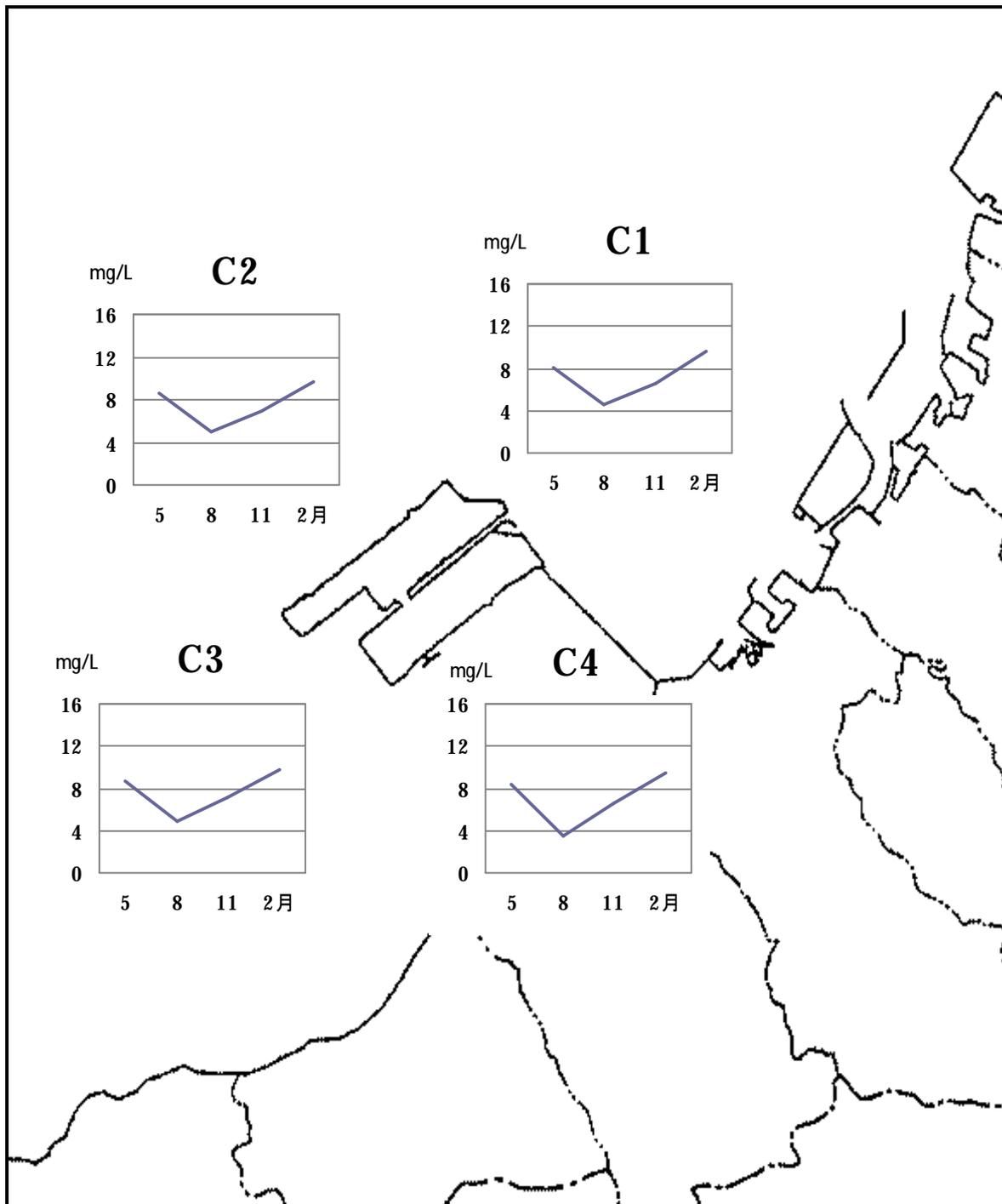


図2-3-2(1) 周辺海域の溶存酸素量（下層）の経月変化（四季調査結果）

表2-3-2(1) 海域水質の経年測定結果 (COD)

COD (mg/L)		C 1			C 2			C 3			C 4		
	層	最小	最大	平均値									
平成11年度	上層	1.5	3.8	2.3	1.5	3.4	2.2	1.5	3.3	2.2	1.6	3.6	2.4
	下層	1.5	2.5	1.9	1.4	2.2	1.8	1.4	2.2	1.8	1.7	2.6	2.1
平成12年度	上層	1.7	2.9	2.1	1.6	2.4	2.0	1.7	3.0	2.0	1.7	2.8	2.2
	下層	1.6	2.3	1.8	1.5	2.4	1.8	1.5	2.2	1.7	1.6	2.6	1.9
平成13年度	上層	1.6	3.7	2.5	1.7	3.8	2.4	1.6	3.5	2.2	1.7	3.7	2.5
	下層	1.5	2.6	1.7	1.6	2.4	1.9	1.5	2.3	2.0	1.8	2.8	2.1
平成14年度	上層	1.7	5.5	2.9	1.8	3.6	2.5	1.7	2.7	2.3	1.7	3.6	2.7
	下層	1.5	2.5	2.0	1.7	2.5	2.0	1.7	2.7	2.1	1.9	3.4	2.4
平成15年度	上層	2.1	5.8	3.1	2.0	3.3	2.7	2.0	3.2	2.6	2.1	5.7	3.0
	下層	1.7	2.7	2.2	1.7	2.3	2.0	1.6	2.8	2.2	1.9	3.3	2.3
平成16年度	上層	2.2	5.3	3.3	1.8	3.5	2.6	1.7	3.5	2.7	2.2	4.3	3.2
	下層	1.6	2.2	1.9	1.6	2.4	1.9	1.6	2.7	2.2	1.9	3.2	2.3
平成17年度	上層	1.9	4.8	2.8	1.8	3.6	2.5	1.9	3.5	2.4	1.8	3.7	2.6
	下層	1.5	2.5	2.0	1.2	2.2	1.8	1.6	2.3	1.9	1.4	2.5	2.0
平成18年度	上層	1.8	3.7	2.7	1.5	3.1	2.1	1.6	3.0	2.3	1.9	3.1	2.5
	下層	1.4	2.2	1.7	1.5	2.3	1.8	1.9	2.2	2.0	1.8	2.6	2.2
平成19年度	上層	1.6	4.0	2.9	1.5	3.0	2.4	1.5	3.5	2.4	1.4	3.2	2.5
	下層	1.3	2.3	1.8	1.5	2.4	1.9	1.2	2.4	1.8	1.1	2.4	1.8
平成20年度	上層	1.8	4.3	3.0	1.3	4.2	2.7	1.6	3.9	2.7	1.7	4.6	2.9
	下層	1.6	2.5	2.2	1.4	2.9	2.3	1.7	2.6	2.3	2.0	2.7	2.5
平成21年度	上層	1.6	3.4	2.5	1.6	3.2	2.3	1.7	3.9	2.6	1.6	3.6	2.4
	下層	1.6	2.7	2.2	1.5	2.5	2.0	1.6	2.8	2.1	1.4	3.0	2.0

COD (mg/L)		N 1			N 2			N 3		
	層	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成18年度	上層	1.7	3.5	2.6	1.7	3.5	2.7	1.4	3.1	2.5
	下層	1.2	2.3	1.7	1.2	2.4	1.9	1.8	2.5	2.2
平成19年度	上層	1.3	3.2	2.6	1.4	3.3	2.6	1.2	3.3	2.6
	下層	1.5	2.3	1.8	1.2	2.3	1.8	1.6	2.5	2.1
平成20年度	上層	2.0	4.6	2.8	1.9	4.5	2.8	1.7	2.5	2.1
	下層	1.5	2.6	2.1	1.6	2.2	2.0	1.4	2.4	1.9
平成21年度	上層	1.4	3.2	2.3	1.5	3.4	2.5	1.5	3.6	2.3
	下層	1.3	2.3	1.7	1.2	2.3	1.8	1.5	2.8	2.1

表2-3-2(2) 海域水質の経年測定結果 (DO)

DO (mg/L)		C 1			C 2			C 3			C 4		
	層	最小	最大	平均値									
平成11年度	上層	7.1	10	8.9	7.2	10	8.7	6.4	11	8.7	6.3	10	8.9
	下層	4.6	10	7.0	4.7	9.9	7.1	4.7	10	7.1	3.5	9.8	6.7
平成12年度	上層	7.3	11	9.0	6.5	11	8.7	5.9	11	8.6	6.6	11	8.8
	下層	4.7	11	7.7	5.5	11	7.8	5.8	9.7	7.7	2.9	11	7.5
平成13年度	上層	6.8	12	9.2	7.1	11	8.8	6.6	11	8.7	7.0	11	9.0
	下層	4.6	9.8	7.2	4.9	10	7.3	4.9	10	7.4	4.5	10	7.1
平成14年度	上層	7.3	14	10	7.0	12	9.1	5.4	12	8.8	7.2	12	9.3
	下層	1.1	9.8	6.8	1.7	10	7.0	2.0	10	7.5	4.6	11	7.8
平成15年度	上層	7.4	14	9.6	7.3	11	8.9	7.3	12	9.1	7.2	13	9.4
	下層	5.2	9.8	7.7	4.6	10	7.5	4.7	12	7.9	3.8	11	7.5
平成16年度	上層	6.9	15	10	6.7	11	8.8	5.9	13	8.9	7.4	13	9.3
	下層	5.1	10	7.4	5.3	10	7.5	4.5	10	7.3	4.7	10	7.3
平成17年度	上層	6.4	11	9.1	6.3	11	8.7	6.2	10	8.6	6.1	10	8.9
	下層	5.0	9.8	7.4	5.6	9.8	7.5	5.5	9.8	7.5	5.5	9.9	7.4
平成18年度	上層	7.6	10	8.7	7.5	9.8	8.6	7.7	9.6	8.8	7.7	10	9.0
	下層	2.0	9.0	6.6	5.3	8.1	7.2	3.6	8.3	6.9	3.7	8.6	6.8
平成19年度	上層	7.6	13	11	7.8	11	9.4	7.6	12	9.9	7.3	12	10
	下層	3.6	11	7.5	5.4	11	8.2	5.7	12	8.2	6.9	12	8.4
平成20年度	上層	7.9	9.8	8.7	7.8	9.9	8.7	7.0	9.7	8.4	7.7	9.8	8.6
	下層	5.0	9.4	7.5	5.8	9.5	7.9	5.1	9.6	7.7	4.2	9.4	7.4
平成21年度	上層	7.4	11	9.2	6.4	10	8.4	7.3	11	9.0	7.1	11	8.8
	下層	4.6	9.6	7.2	5.0	9.6	7.5	4.9	9.7	7.6	3.5	9.4	7.0

DO (mg/L)		N 1			N 2			N 3		
	層	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成18年度	上層	7.6	10	8.6	6.4	10	8.4	7.4	9.7	8.8
	下層	3.0	8.0	6.5	2.6	8.7	6.2	3.1	8.9	6.6
平成19年度	上層	6.9	13	9.9	6.8	12	9.4	7.5	11	9.2
	下層	5.4	10	7.5	4.4	11	7.5	5.0	11	7.8
平成20年度	上層	7.4	9.9	8.8	6.3	9.9	8.4	6.4	9.9	8.2
	下層	5.8	9.4	7.6	3.2	9.2	6.6	3.9	9.6	7.5
平成21年度	上層	7.5	10	9.0	7.7	10	8.8	7.1	10	8.6
	下層	4.5	9.6	7.1	3.9	9.6	7.4	3.9	9.6	6.8

表2-3-2(3) 海域水質の経年測定結果 (T-N・上層)

T-N (mg/L)	C 1			C 2			C 3			C 4		
	最小	最大	平均値									
平成11年度	0.29	0.55	0.39	0.26	0.46	0.36	0.18	0.46	0.34	0.35	0.64	0.44
平成12年度	0.27	0.59	0.37	0.26	0.43	0.35	0.29	0.48	0.35	0.26	0.71	0.42
平成13年度	0.20	0.56	0.37	0.23	0.49	0.35	0.22	0.40	0.33	0.25	0.54	0.38
平成14年度	0.26	0.59	0.38	0.28	0.46	0.35	0.24	0.39	0.29	0.28	0.48	0.38
平成15年度	0.19	0.37	0.29	0.18	0.40	0.28	0.15	0.36	0.27	0.20	0.55	0.34
平成16年度	0.24	0.49	0.33	0.22	0.36	0.27	0.21	0.33	0.28	0.24	0.53	0.33
平成17年度	0.15	0.33	0.23	0.13	0.34	0.22	0.15	0.35	0.23	0.17	0.40	0.25
平成18年度	0.28	0.37	0.34	0.24	0.28	0.26	0.21	0.28	0.25	0.18	0.36	0.27
平成19年度	0.26	0.40	0.32	0.25	0.30	0.28	0.23	0.33	0.28	0.27	0.40	0.32
平成20年度	0.21	0.43	0.29	0.20	0.36	0.28	0.20	0.37	0.28	0.20	0.42	0.30
平成21年度	0.19	0.36	0.26	0.20	0.30	0.24	0.19	0.37	0.27	0.20	0.36	0.28

T-N (mg/L)	N 1			N 2			N 3		
	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成18年度	0.23	0.34	0.28	0.24	0.42	0.24	0.21	0.34	0.26
平成19年度	0.31	0.71	0.41	0.24	0.37	0.31	0.21	0.25	0.23
平成20年度	0.23	0.43	0.31	0.26	0.46	0.32	0.21	0.35	0.27
平成21年度	0.20	0.33	0.27	0.17	0.34	0.25	0.19	0.33	0.25

表2-3-2(4) 海域水質の経年測定結果 (T-P・上層)

T-P (mg/L)	C 1			C 2			C 3			C 4		
	最小	最大	平均値									
平成11年度	0.023	0.050	0.032	0.018	0.046	0.029	0.020	0.040	0.029	0.021	0.056	0.034
平成12年度	0.018	0.038	0.029	0.018	0.037	0.029	0.019	0.048	0.030	0.020	0.050	0.032
平成13年度	0.017	0.061	0.035	0.019	0.054	0.033	0.022	0.056	0.035	0.017	0.064	0.037
平成14年度	0.018	0.045	0.032	0.016	0.041	0.031	0.020	0.042	0.029	0.022	0.041	0.031
平成15年度	0.011	0.053	0.031	0.012	0.044	0.029	0.008	0.041	0.030	0.011	0.046	0.032
平成16年度	0.021	0.054	0.037	0.024	0.045	0.034	0.025	0.046	0.035	0.026	0.055	0.037
平成17年度	0.018	0.056	0.033	0.016	0.054	0.030	0.018	0.043	0.032	0.018	0.053	0.034
平成18年度	0.023	0.030	0.027	0.019	0.032	0.026	0.019	0.035	0.024	0.019	0.033	0.027
平成19年度	0.032	0.043	0.038	0.024	0.034	0.030	0.028	0.036	0.032	0.032	0.037	0.034
平成20年度	0.014	0.050	0.039	0.014	0.038	0.030	0.019	0.041	0.030	0.021	0.050	0.038
平成21年度	0.022	0.042	0.029	0.017	0.041	0.029	0.029	0.043	0.034	0.026	0.041	0.032

T-P (mg/L)	N 1			N 2			N 3		
	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値	最小	最大	平均値
平成18年度	0.023	0.033	0.030	0.025	0.041	0.030	0.021	0.061	0.034
平成19年度	0.028	0.043	0.033	0.026	0.044	0.036	0.021	0.038	0.029
平成20年度	0.013	0.039	0.032	0.016	0.046	0.037	0.012	0.038	0.030
平成21年度	0.022	0.040	0.030	0.026	0.040	0.031	0.024	0.042	0.030

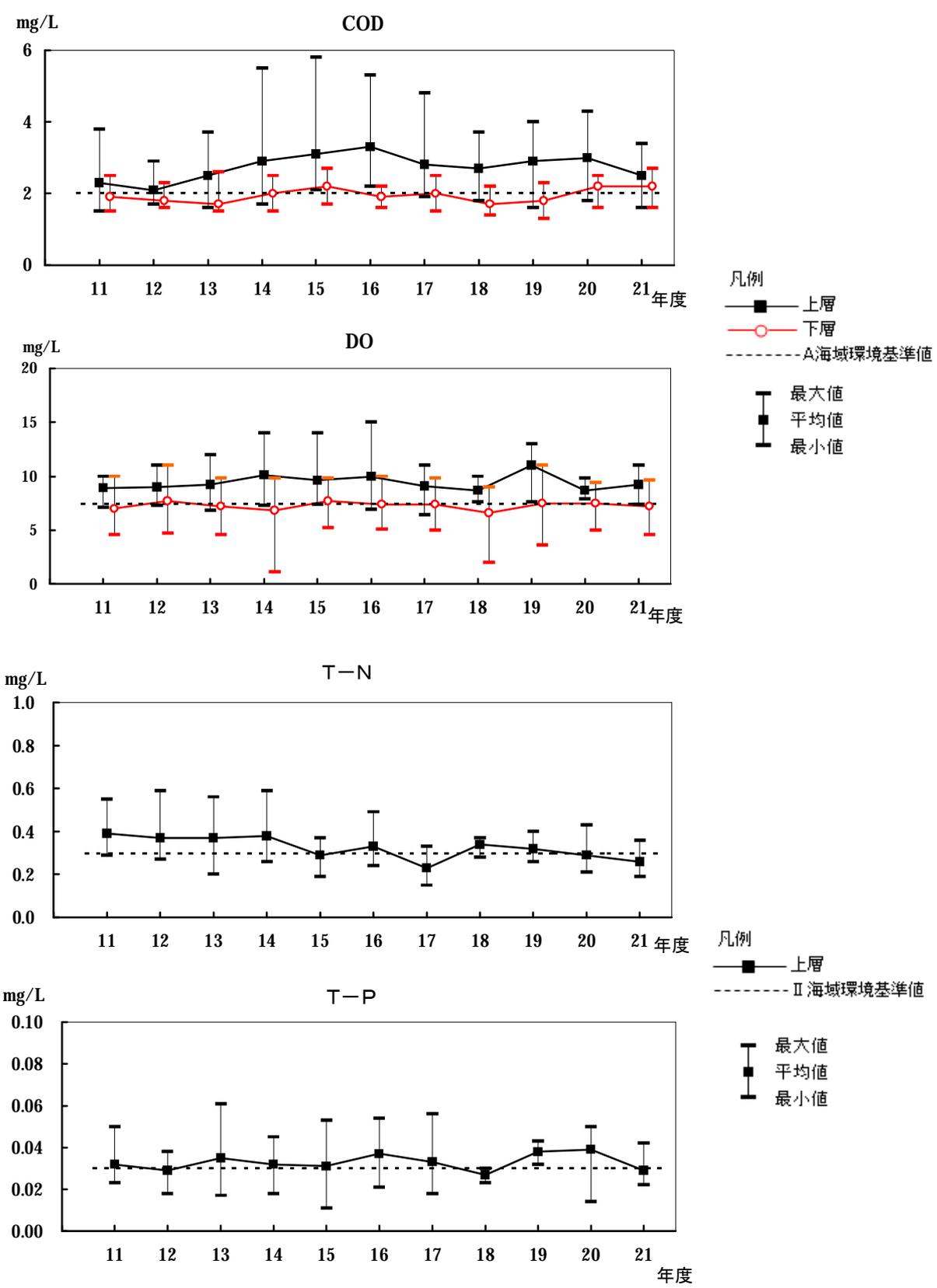


図2-3-2(2-1) 海域水質の経年測定結果 (C1)

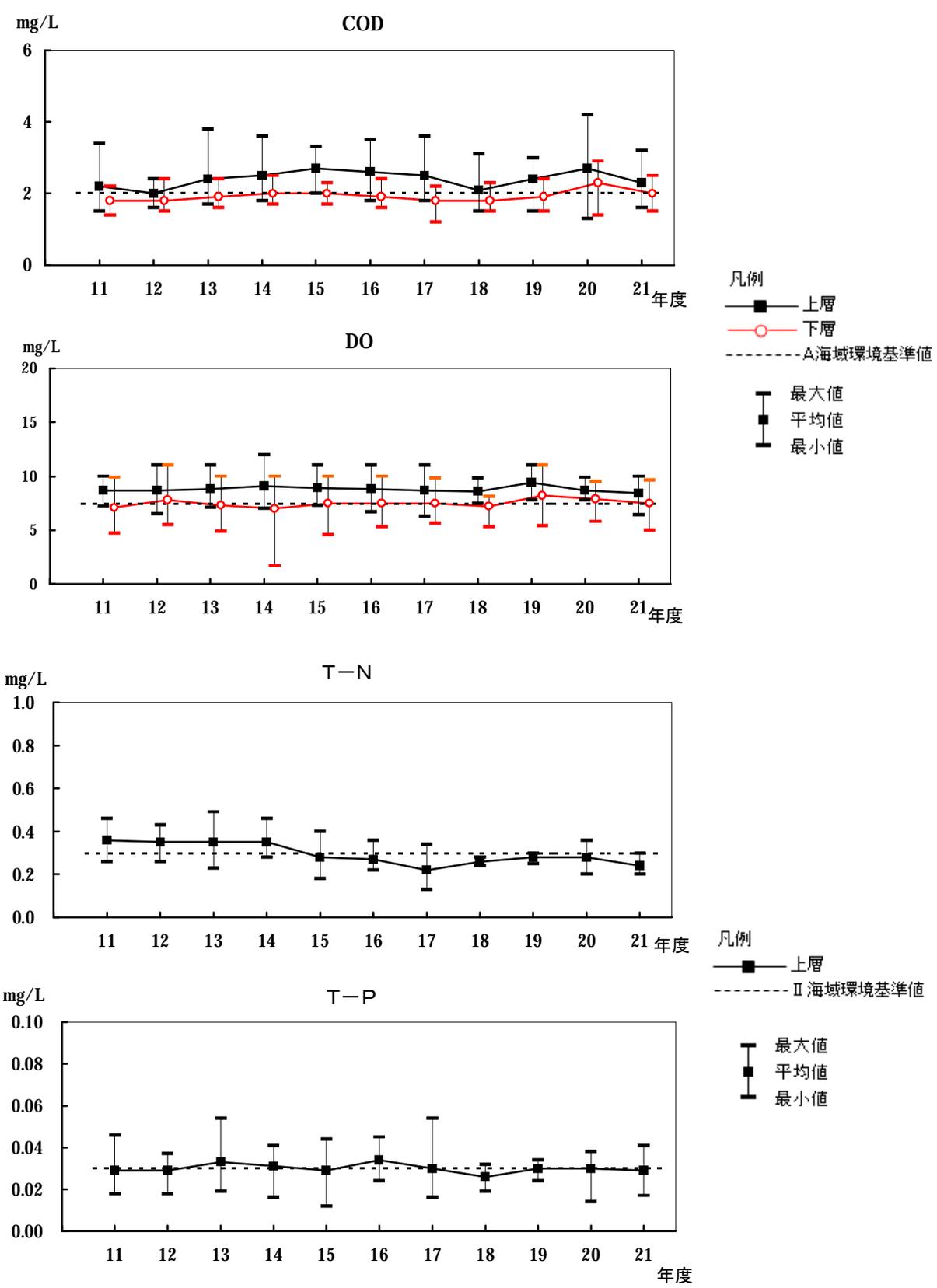


図2-3-2(2-2) 海域水質の経年測定結果 (C2)

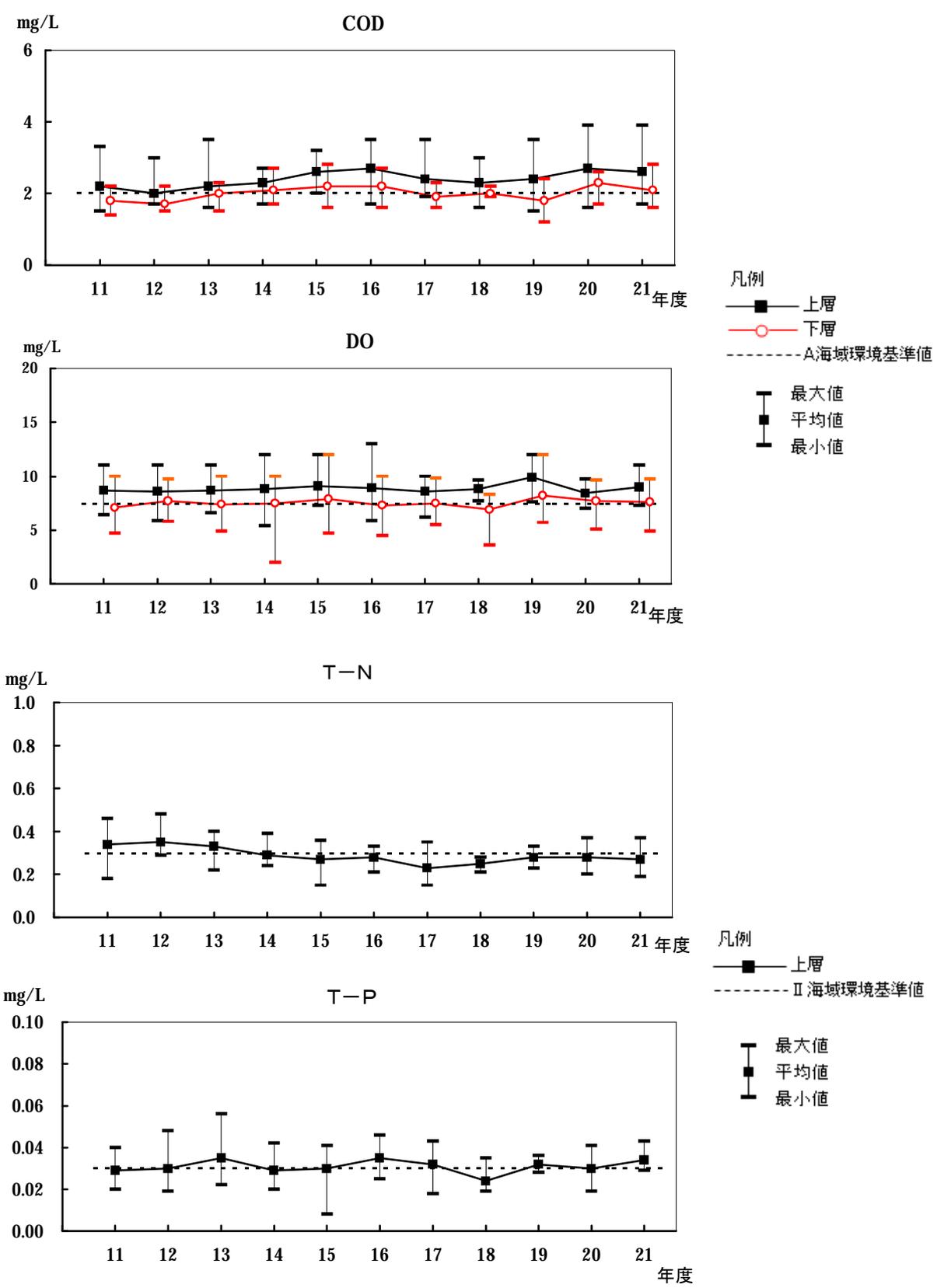


図2-3-2(2-3) 海域水質の経年測定結果 (C3)

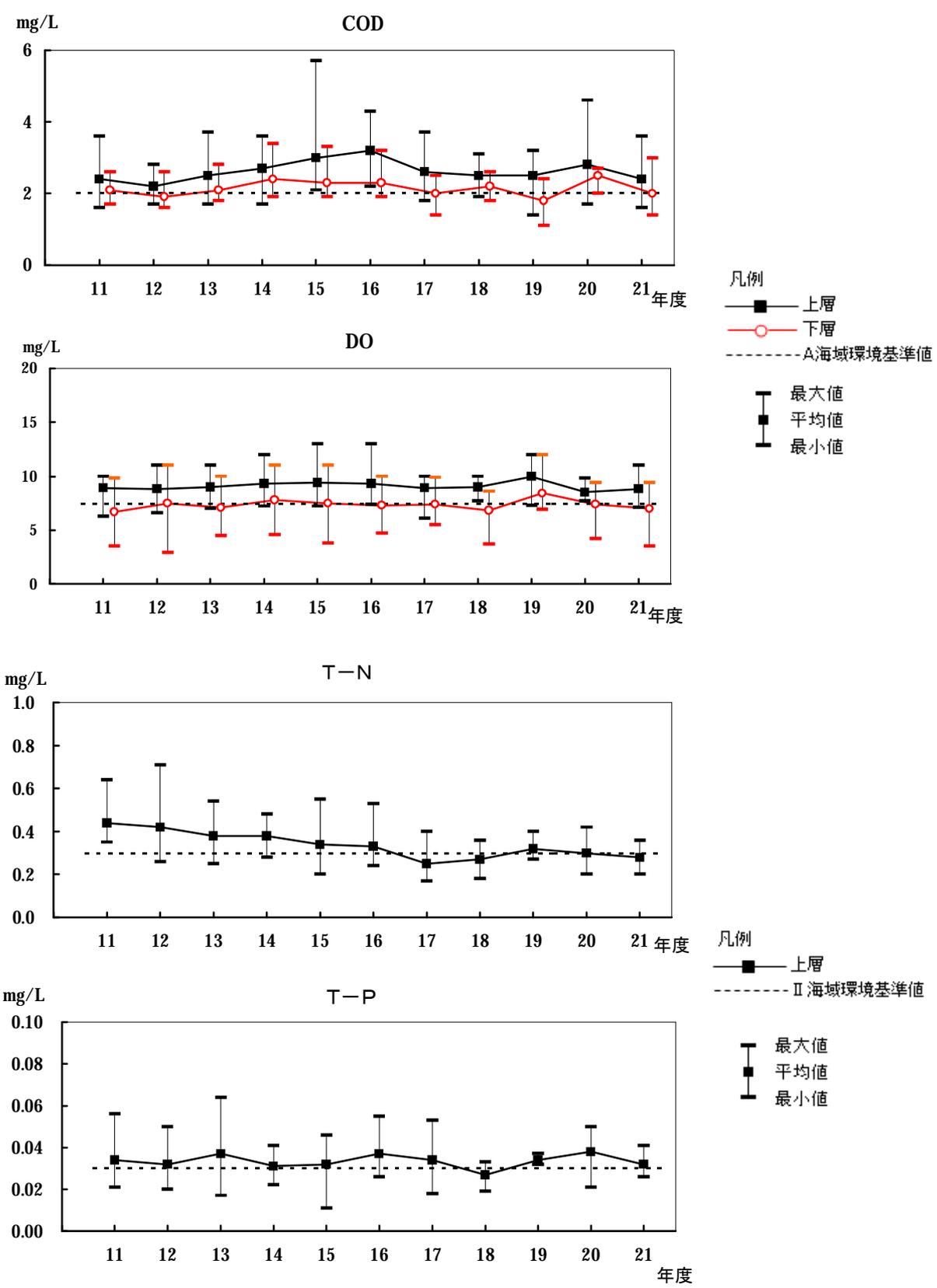


図2-3-2(2-4) 海域水質の経年測定結果 (C4)

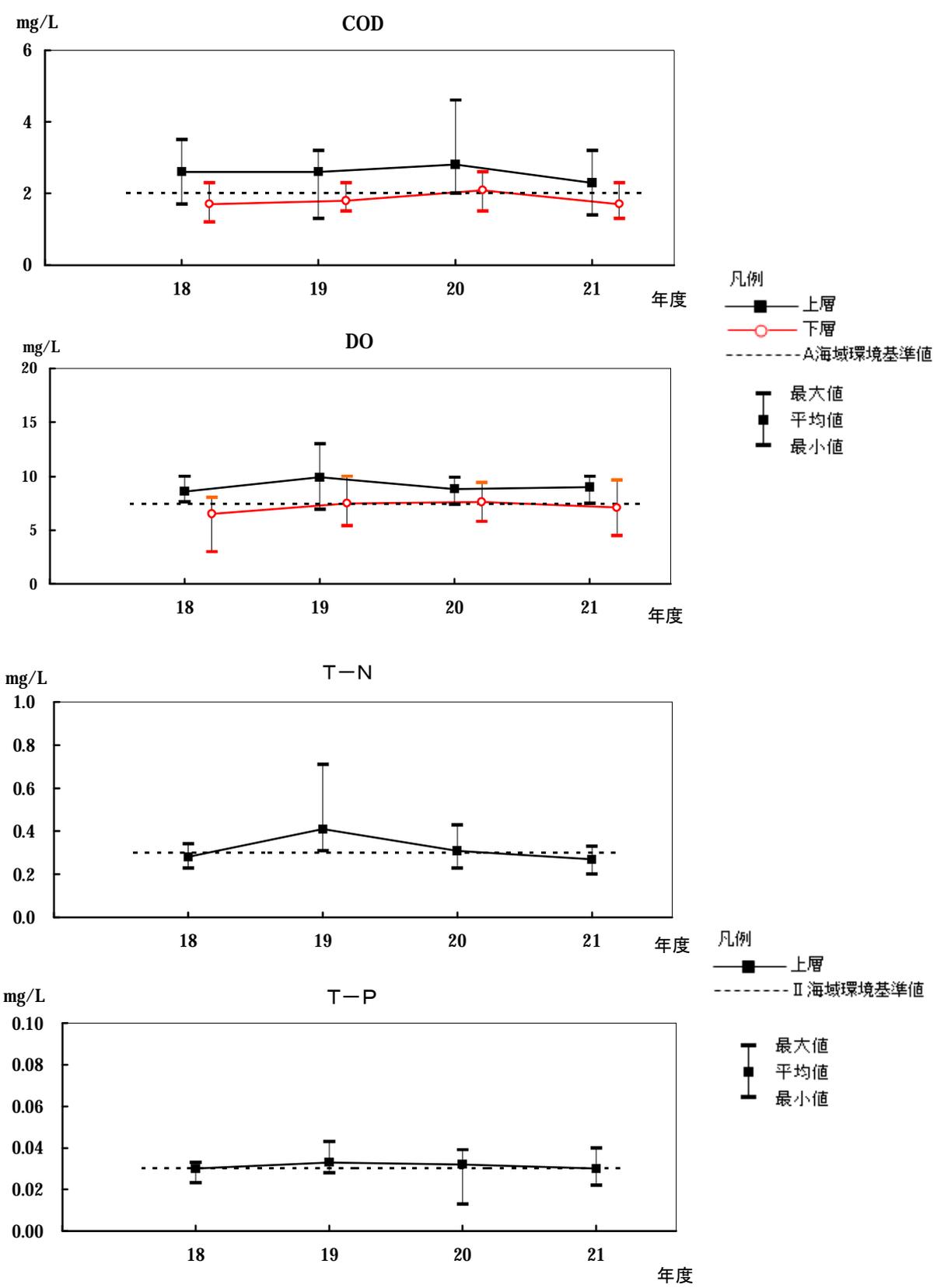


図2-3-2(2-5) 海域水質の経年測定結果 (N 1)

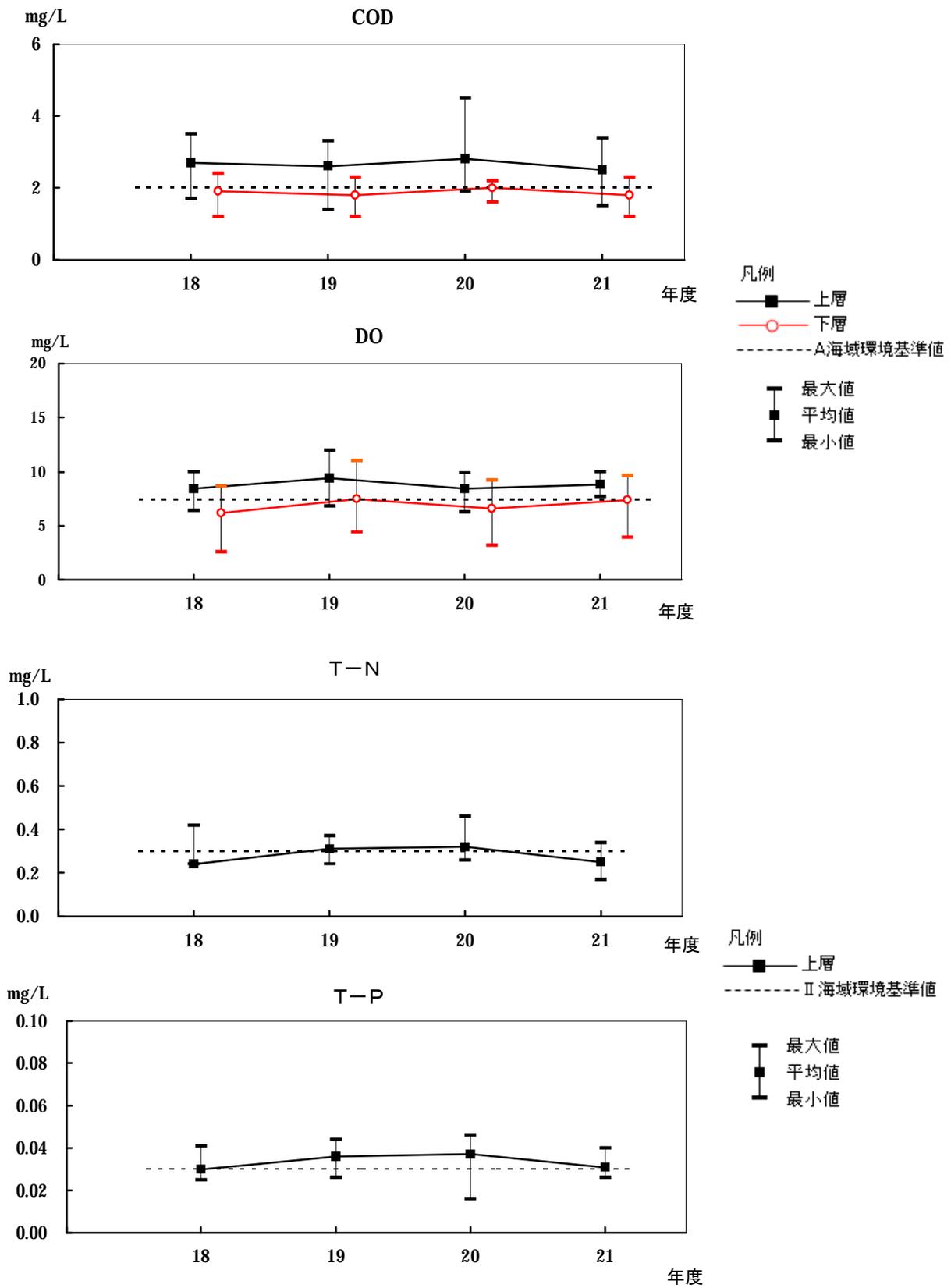


図2-3-2(2-6) 海域水質の経年測定結果 (N 2)

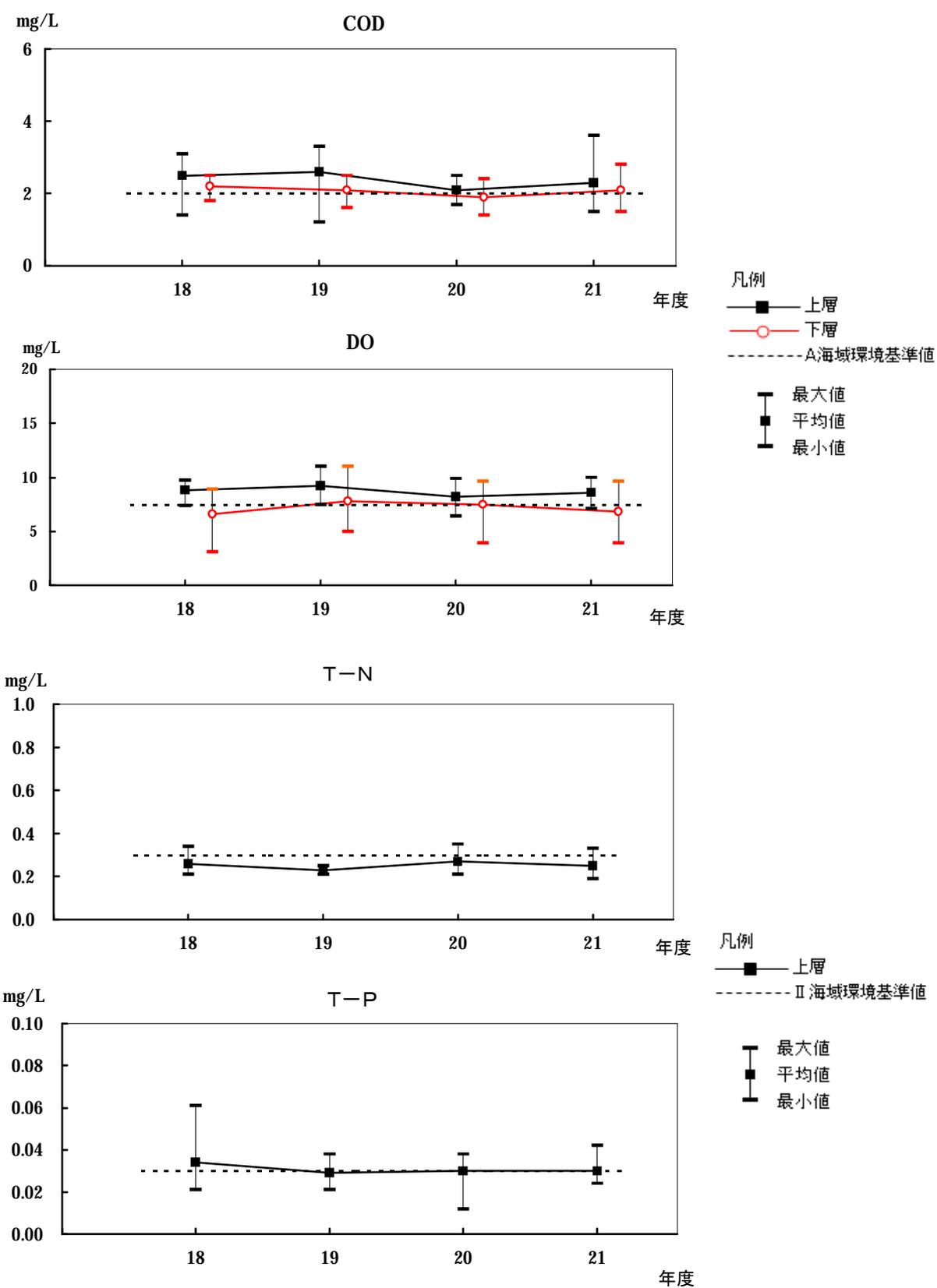
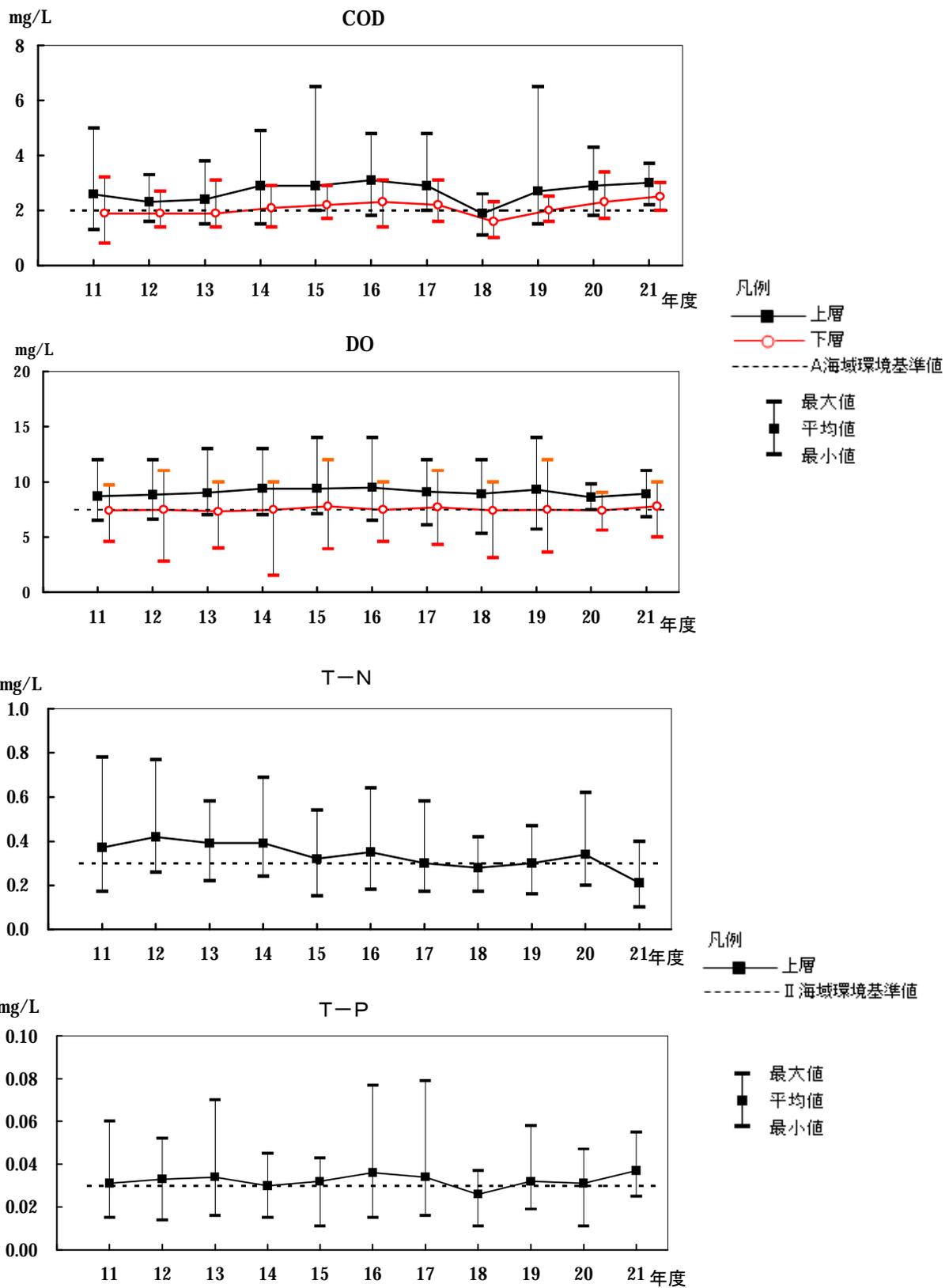


図2-3-2(2-7) 海域水質の経年測定結果 (N3)



(注) 大阪府が実施した大阪湾常時監視のうち、A-3、A-6、A-7、A-10の結果を用いた。

図2-3-2(2-8) 海域水質の経年測定結果 (大阪湾常時監視)

表2-3-3(1) 海域底質の経年測定結果（空港島周辺海域）

	地点数	COD (mg/g乾泥)		強熱減量 (%)		硫化物 (mg/g乾泥)	
		最小 ~ 最大	平均値	最小 ~ 最大	平均値	最小 ~ 最大	平均値
昭和61年度	5	13 ~ 34	28	2.4 ~ 10	8.3	0.05 ~ 0.18	0.14
昭和62年度	5	7.3 ~ 37	28	2.1 ~ 12	8.8	0.02 ~ 0.39	0.18
昭和63年度	5	9.0 ~ 32	20	3.1 ~ 9.7	8.1	0.01 ~ 0.34	0.15
平成元年度	5	2.9 ~ 34	21	1.6 ~ 9.9	7.9	0.09 ~ 0.52	0.26
平成2年度	5	5.7 ~ 26	18	2.2 ~ 9.2	7.6	0.04 ~ 0.62	0.32
平成3年度	5	6.6 ~ 23	17	2.4 ~ 8.9	7.6	0.14 ~ 0.79	0.42
平成4年度	5	8.6 ~ 24	19	2.8 ~ 9.0	7.6	0.19 ~ 0.91	0.51
平成5年度	5	12 ~ 29	21	4.0 ~ 9.1	7.6	0.21 ~ 0.77	0.52
平成6年度	5→4	6.9 ~ 19	14	3.5 ~ 9.0	7.7	0.10 ~ 0.69	0.43
平成7年度	4	15 ~ 26	22	8.5 ~ 9.7	9.1	0.17 ~ 0.69	0.42
平成8年度	4	18 ~ 27	22	7.5 ~ 9.1	8.2	0.34 ~ 0.84	0.59
平成9年度	4	15 ~ 24	19	7.3 ~ 9.2	8.5	0.30 ~ 0.46	0.38
平成10年度	4	23 ~ 39	30	8.3 ~ 9.4	8.9	0.32 ~ 0.84	0.54
平成11年度	4	11 ~ 37	24	8.1 ~ 9.6	9.0	0.28 ~ 0.91	0.48
平成12年度	4	9.1 ~ 32	21	6.8 ~ 8.8	8.0	0.15 ~ 0.51	0.29
平成13年度	4	11 ~ 28	18	6.0 ~ 9.5	8.2	0.20 ~ 0.94	0.38
平成14年度	4	11 ~ 21	15	7.0 ~ 9.7	8.4	0.21 ~ 1.2	0.47
平成15年度	4	7.4 ~ 19	14	6.8 ~ 9.4	8.2	0.24 ~ 0.68	0.44
平成16年度	4	7.7 ~ 21	15	6.7 ~ 9.5	8.3	0.21 ~ 0.85	0.53
平成17年度	4	11 ~ 27	20	7.2 ~ 10	8.7	0.29 ~ 0.74	0.45
平成18年度	4	15 ~ 20	18	7.0 ~ 9.4	8.3	0.22 ~ 0.63	0.41
平成19年度	4	12 ~ 23	18	7.4 ~ 11	9.0	0.25 ~ 0.64	0.43
平成20年度	4	7.5 ~ 27	19	7.2 ~ 9.6	8.7	0.21 ~ 0.33	0.27
平成21年度	4	15 ~ 33	25	6.8 ~ 9.5	8.4	0.23 ~ 0.64	0.43

- (注) 1. 平成6年9月(開港後) から調査地点を5地点から4地点に変更。  
 2. 平成11年度から2期工事に伴い調査地点位置を変更。  
 3. 調査は平成17年度までは年4回、平成18年度より年2回実施。

表2-3-3(2) 海域底質の経年測定結果（内部水面）

	地点数	COD (mg/g乾泥)		強熱減量 (%)		硫化物 (mg/g乾泥)	
		最小 ~ 最大	平均値	最小 ~ 最大	平均値	最小 ~ 最大	平均値
平成18年度	3	3.8 ~ 13	7.4	3.6 ~ 8.4	5.2	0.16 ~ 0.62	0.37
平成19年度	3	2.8 ~ 16	8.8	3.1 ~ 9.2	5.8	0.05 ~ 0.77	0.44
平成20年度	3	2.7 ~ 19	9.1	3.0 ~ 8.7	5.4	0.08 ~ 0.77	0.32
平成21年度	3	3.0 ~ 24	12	3.0 ~ 7.8	5.6	0.08 ~ 1.1	0.45

(注) 調査は年4回実施。

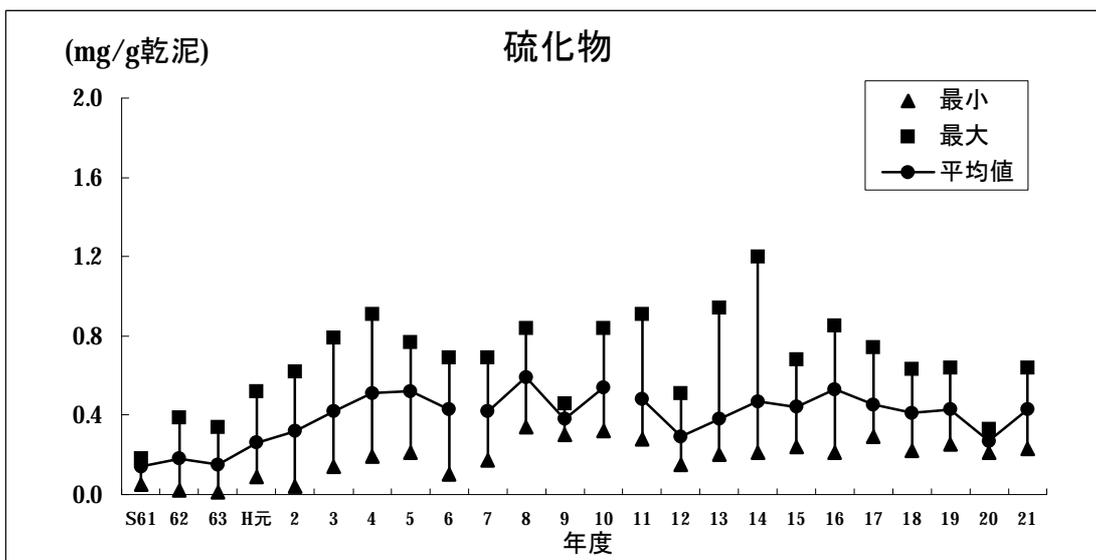
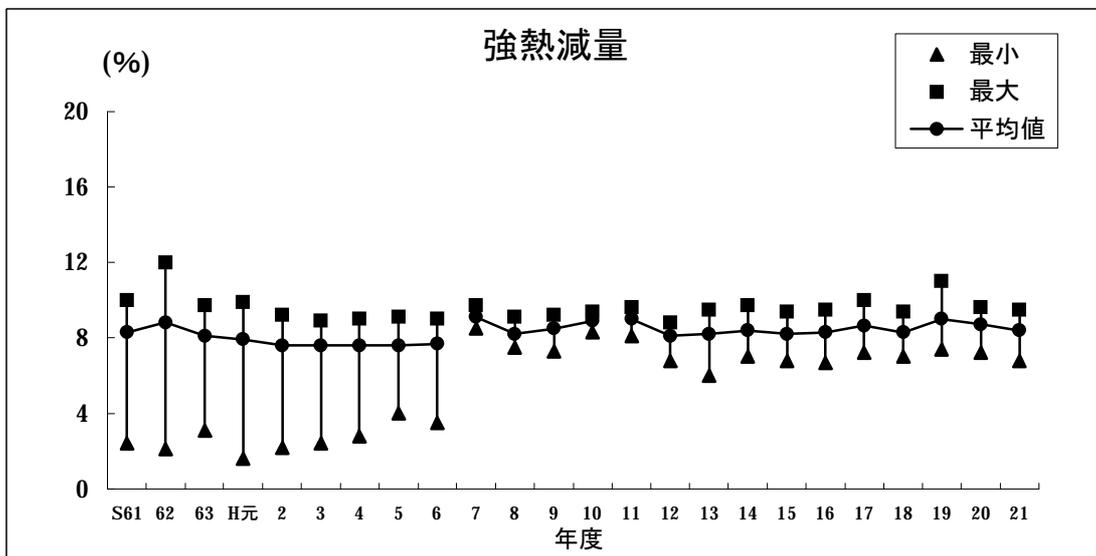
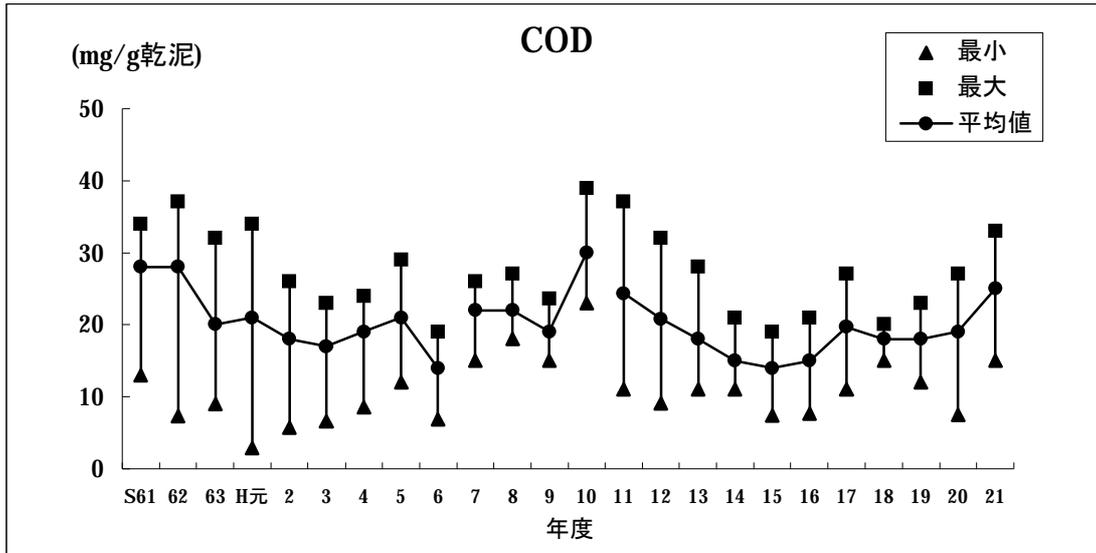


図2-3-3(1) 海域底質測定結果の経年変化 (空港島周辺海域)

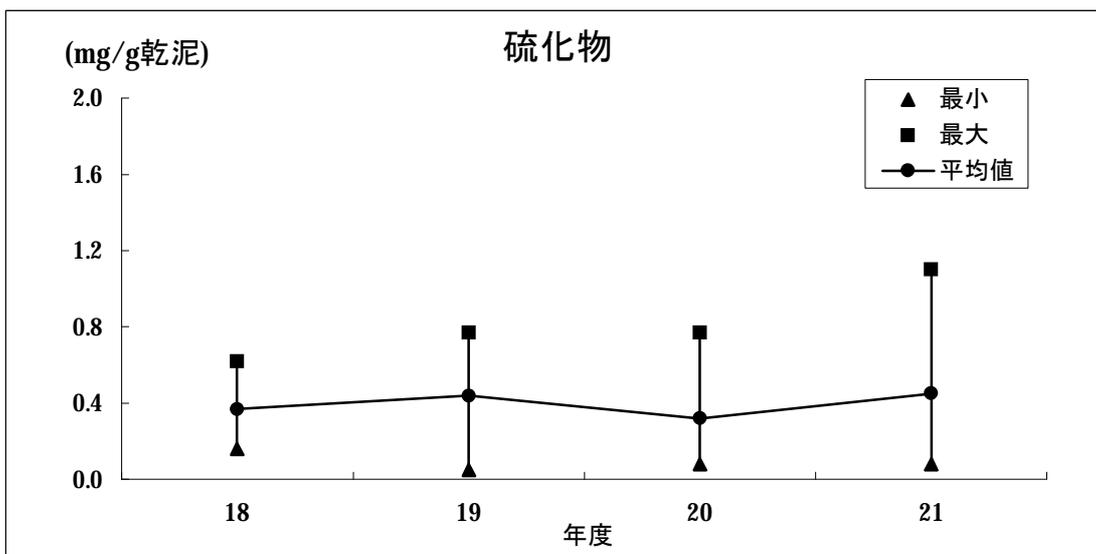
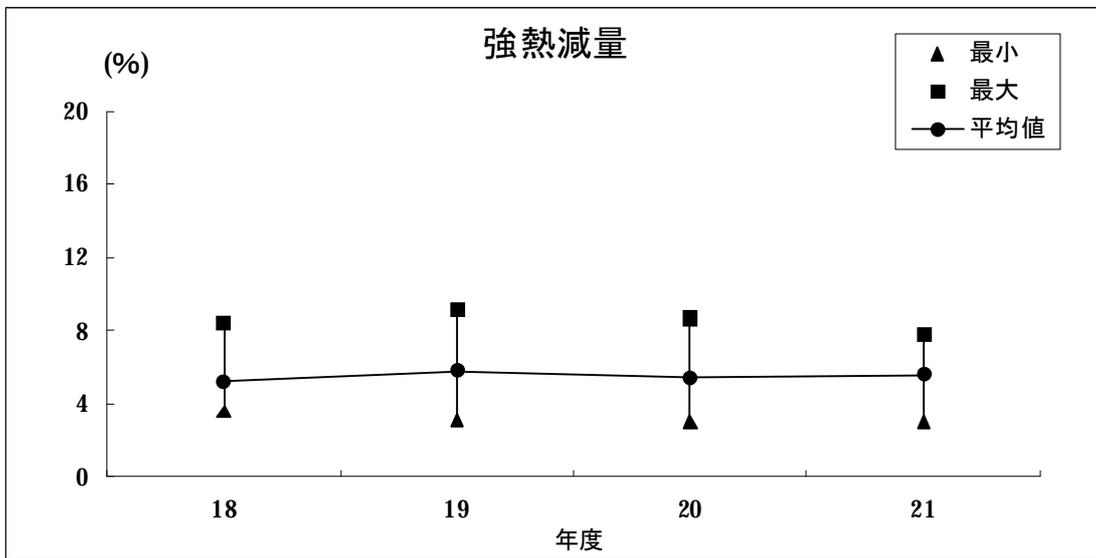
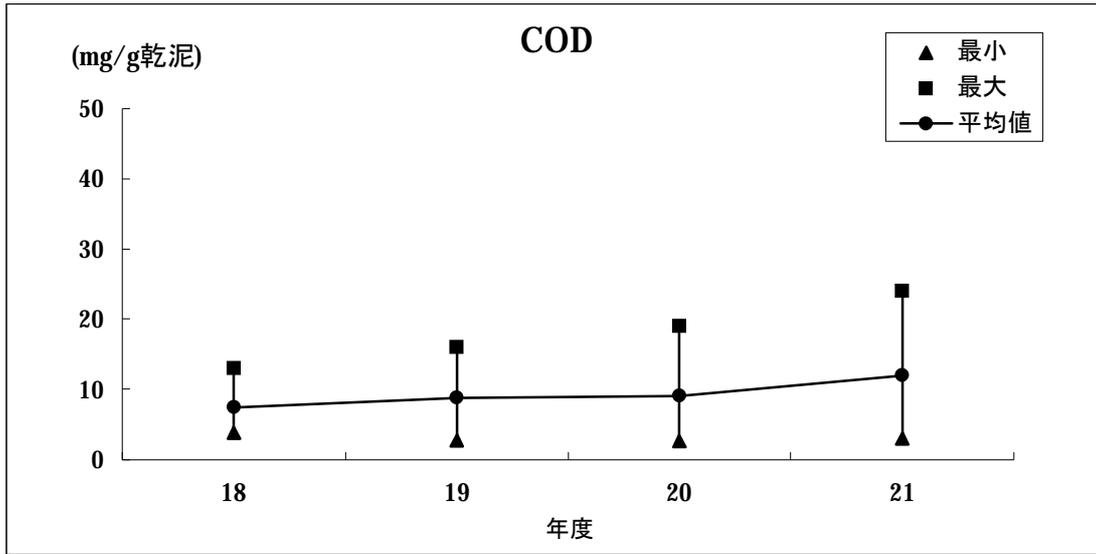


図2-3-3(2) 海域底質測定結果の経年変化 (内部水面)

表2-3-4(1) 航空機騒音の測定結果（常時測定）

測定地点		W E C P N L											
		平成21年										平成22年	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	離着陸機数 (日平均)	307	302	300	306	313	309	296	288	289	285	287	289
①泉大津市 汐見町	パワー平均	50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	50	50	<50	50
	最小	-	-	-	<50	<50	<50	<50	<50	-	-	-	-
	最大	58	58	58	52	59	54	53	55	59	55	57	58
	測定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
②泉佐野市 りんくう往来南	パワー平均	54	50	51	<50	50	<50	52	54	52	53	53	54
	最小	<50	<50	<50	-	<50	-	<50	<50	-	<50	-	<50
	最大	57	55	56	55	61	54	59	60	58	58	59	60
	測定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
③岬町 多奈川小島	パワー平均	60	59	58	56	57	57	59	61	60	58	59	60
	最小	55	53	52	<50	<50	51	53	50	<50	<50	<50	50
	最大	63	62	61	59	61	60	61	63	63	62	63	63
	測定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31
⑧貝塚市 二色3丁目	パワー平均	52	52	52	51	50	51	51	53	53	51	53	54
	最小	<50	<50	<50	-	<50	<50	<50	<50	-	-	-	<50
	最大	57	56	56	58	55	55	56	56	57	57	58	57
	測定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31

(注) 表中の「-」は、暗騒音より10dB以上のピークレベルが検出できなかったことを示す。

表2-3-4(2) 航空機騒音の測定結果（定期測定）

測定地点	W E C P N L								
	平成21年								
	6月			9月			12月		
	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大
④堺市 南区庭代台	<50	-	<50	<50	-	<50	<50	<50	<50
⑤高石市 高砂2丁目	-	-	-	<50	-	<50	<50	-	52
⑥忠岡町 新浜3丁目	<50	-	<50	<50	-	<50	51	-	57
⑦岸和田市 臨海町	<50	-	54	<50	-	<50	<50	-	53
⑨田尻町 りんくうポート南	<50	-	53	<50	<50	54	50	-	54
⑩泉南市 りんくう南浜	50	<50	54	52	<50	57	52	-	57
⑪阪南市 箱作	<50	<50	55	<50	-	54	<50	-	53
⑫和泉市 和田町	<50	-	<50	<50	-	<50	<50	-	<50
⑬熊取町 希望が丘	<50	-	<50	<50	-	<50	<50	-	<50

(注) 1. 測定日数は7日間である。

2. 表中の「-」は、暗騒音より10dB以上のピークレベルが検出できなかったことを示す。

表2-3-4(3) 航空機騒音の経年変化（常時測定）

測定 地点	項目 年度	W E C P N L (パワー平均)															
		H 6	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
①泉大津市 汐見町		56	53	54	54	53	54	54	53	52	52	54	54	53	51	50	<50
②泉佐野市 りんくう往来南		50	50	53	51	51	50	51	52	52	52	52	50	52	50	53	52
③岬町 多奈川小島		62	62	62	62	63	63	63	62	62	61	62	61	61	60	58	59
⑧貝塚市 二色3丁目						55	54	54	53	54	54	54	54	53	54	53	52

(注) ⑧貝塚市二色3丁目は平成10年12月3日から常時測定。

表2-3-4(4) 航空機騒音の経年変化（定期測定）

測定 地点	項目 年度	W E C P N L (パワー平均)																備考
		H 6	H 7	H 8	H 9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	
④堺市	築港新町	<50	<50	<50	<50	—												平成10年12月から 測定地点を変更
	南区庭代台					<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	
⑤高石市	高砂3丁目	<50	<50	51	51	<50												平成10年12月から 測定地点を変更
	高砂2丁目					<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	
⑥忠岡町	新浜3丁目	55	53	57	55	55	53	52	53	52	51	53	54	52	50	<50	<50	
⑦岸和田市	地藏浜町	55	55	54	57	59												平成10年12月から 測定地点を変更
	臨海町					57	54	55	54	55	53	53	52	<50	<50	<50	<50	
⑧貝塚市	二色3丁目	55	57	53	56	54												
⑨田尻町	りんくうポート南	57	54	52	55	54	54	56	53	54	55	55	52	55	53	50	<50	
⑩泉南市	りんくう南浜	56	53	54	59	58	58	59	57	58	57	56	51	58	57	53	51	
⑪阪南市	箱作	53	52	52	56	55	54	56	52	53	54	54	<50	55	53	53	<50	
⑫和泉市	府中町	—	—	<50	<50	<50												平成10年12月から 測定地点を変更
	和田町					—	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	
⑬熊取町	野田	—																平成7年6月まで
	大久保		<50	<50	<50	<50												平成7年12月～ 平成10年6月まで
	希望が丘					<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	<50	—	<50	<50	<50	平成10年9月から

(注)1. 表中の「—」は、暗騒音より10dB以上のピークレベルが検出できなかったことを示す。

2. 測定地点⑧は平成10年9月まで実施。

3. 測定地点④、⑤、⑫及び⑬の測定回数は平成14年度までと平成20年度は年4回、平成15年度から17年度は年2回、平成18年度は年1回、平成19年度と平成21年度は年3回実施。

4. 測定地点⑥、⑦、⑨、⑩及び⑪の測定回数は平成16年度までと平成19年度、平成20年度は年4回、平成17年度と平成18年度は年2回、平成21年度は年3回実施。

表2-3-5(1) 植物プランクトンの調査結果（内部水面）

[平成21年度]

項目	季節	春 季		夏 季	
	調査日	平成21年5月12日		平成21年8月5日	
	調査点数	2		2	
	区分	最小値 ~ 最大値	平均値	最小値 ~ 最大値	平均値
種類数 [94]		15 ~ 27	41	23 ~ 28	38
細胞数 (Cells/L)		583200 ~ 1738740	1192750	155520 ~ 3586620	1529320
沈殿量 (mL/L)		0.08 ~ 0.25	0.14	0.06 ~ 0.19	0.13
主要種 細胞数 (%)		ニッチア属(ブンゲンス型) 591120 (49.6) レプトキリンドルス ダニクス 561120 (47.0)		スケルトネマ コスタタム 874400 (57.2) ニッチア属 447080 (29.2)	

項目	季節	秋 季		冬 季	
	調査日	平成21年10月28日		平成22年2月2日	
	調査点数	2		2	
	区分	最小値 ~ 最大値	平均値	最小値 ~ 最大値	平均値
種類数 [94]		21 ~ 40	54	24 ~ 33	49
細胞数 (Cells/L)		61080 ~ 192660	133630	101160 ~ 432720	255667
沈殿量 (mL/L)		0.02 ~ 0.04	0.03	0.04 ~ 0.11	0.08
主要種 細胞数 (%)		スケルトネマ コスタタム 44560 (33.3) レプトキリンドルス ダニクス 15560 (11.6)		スケルトネマ コスタタム 188640 (73.8)	

注1) 種類数の平均は総種類数を示す。また、[ ]内の数値は年間を通しての総種類数を示す。

注2) 主要種は各季での細胞数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(2) 動物プランクトンの調査結果（内部水面）

[平成21年度]

季節		春季	夏季	秋季	冬季
調査日		平成21年5月12日	平成21年8月5日	平成21年10月28日	平成22年2月2日
調査点数		2	2	2	2
種類数 [61]	最小値	25	20	31	19
	最大値	27	27	33	22
	平均値	30	31	38	23
個体数 (個体/m <sup>3</sup> )	最小値	36600	42640	48310	9860
	最大値	45720	69200	65620	17170
	平均値	41160	55920	56965	13515
沈殿量 (mL/L)	最小値	0.014	0.011	0.005	0.012
	最大値	0.015	0.013	0.005	0.016
	平均値	0.015	0.012	0.005	0.014
主要種 個体数(%)		橈脚亜綱のノープリス期幼生 15430 (37.5)	橈脚亜綱のノープリス期幼生 30425 (54.4)	オイトケ属のコペポダイト期幼生 14170 (24.9)	橈脚亜綱のノープリス期幼生 3025 (22.4)
		アカルチア属のコペポダイト期幼生 6980 (17.0)		マイクロテラ ノルウエンガ 12515 (22.0)	ケントロバダス属のコペポダイト期 幼生 1865 (13.8)
				オイトケ プレウイコリス 8495 (14.9)	オイトケ属のコペポダイト期幼生 1595 (11.8)
				橈脚亜綱のノープリス期幼生 8250 (14.5)	

注1) 種類数の平均は総種類数を示す。

注2) 主要種は各調査点での上位5種のうち、組成率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(3-1) 底生生物の調査結果（空港島周辺海域）

[平成21年度]

項目		春季		夏季		秋季		冬季	
		最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値
季節		春季		夏季		秋季		冬季	
調査日		平成21年5月12日		平成21年8月5日		平成21年10月28日		平成22年2月2日	
調査点数		4		4		4		4	
区分		最小値～最大値 平均値		最小値～最大値 平均値		最小値～最大値 平均値		最小値～最大値 平均値	
種類数	軟体動物門 [33]	2～15	22	1～8	14	1～2	6	0～5	7
	環形動物門 [48]	8～20	27	8～17	28	3～12	22	4～18	22
	節足動物門 [31]	0～17	18	1～8	16	0～3	6	1～6	9
	その他 [16]	2～8	10	1～5	8	0～5	8	2～7	9
	合計 [128]	14～60	77	13～34	66	5～21	42	8～36	47
個体数	軟体動物門	11～33	19	3～106	31	1～62	17	0～15	5
	環形動物門	12～207	80	14～161	88	3～372	112	9～69	30
	節足動物門	0～83	25	1～21	10	0～4	2	1～44	12
	その他	3～333	88	1～127	35	0～67	21	2～57	16
	合計	30～656	212	19～293	164	8～444	152	13～185	63
個組体成数比(%)	軟体動物門	5.0～36.7	9.0	2.4～36.6	18.9	0.2～42.8	11.2	0.0～20.0	7.9
	環形動物門	31.6～54.5	37.7	47.1～73.6	53.7	33.3～83.8	73.7	37.3～80.0	47.6
	節足動物門	0.0～12.7	11.8	2.0～7.2	6.1	0.0～11.1	1.3	6.7～23.8	19.0
	その他	9.1～50.8	41.5	2.4～43.3	21.3	0.1～33.3	13.8	11.4～30.8	25.4
	合計	0.60～22.28	9.00	1.17～19.96	24.81	0.42～82.55	27.43	1.41～37.27	14.10
重量(g)	軟体動物門	0.08～4.81	1.37	0.09～23.51	6.31	0.00～37.77	9.45	0.00～0.22	0.09
	環形動物門	0.29～2.00	1.07	0.94～12.22	3.81	0.09～4.90	1.47	0.22～0.59	0.42
	節足動物門	0.00～0.19	0.07	+～2.21	0.69	0.00～5.19	1.31	0.28～6.29	1.92
	その他	0.18～21.70	6.49	0.01～17.88	14.00	0.00～39.10	15.20	0.47～36.03	11.67
	合計	0.60～22.28	9.00	1.17～19.96	24.81	0.42～82.55	27.43	1.41～37.27	14.10
主要種個体数(%)		カキモヒトテ <sup>°</sup> 51 (24.1) カタマガ <sup>°</sup> リギ <sup>°</sup> ホ <sup>°</sup> シイソメ 29 (13.7) 星口動物門の一種 26 (12.3)	カタマガ <sup>°</sup> リギ <sup>°</sup> ホ <sup>°</sup> シイソメ 36 (22.0) Terebellides属の一種 27 (16.5) ホトギ <sup>°</sup> スカイ 24 (14.6) カキモヒトテ <sup>°</sup> 21 (12.8)	カタマガ <sup>°</sup> リギ <sup>°</sup> ホ <sup>°</sup> シイソメ 85 (55.9)	ユシボ <sup>°</sup> ソコヒ <sup>°</sup> 科の一種 8 (12.7) カタマガ <sup>°</sup> リギ <sup>°</sup> ホ <sup>°</sup> シイソメ 7 (11.1)				

注1) 個体数、湿重量は0.15m<sup>2</sup>当たりで示す。湿重量の+は0.01g未満を示す。

注2) 種類数の平均は総種類数を示す。

注3) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(3-2) 底生生物の調査結果（内部水面）

[平成21年度]

項目	季節	春季		夏季		秋季		冬季	
	調査日	平成21年5月12日		平成21年8月5日		平成21年10月28日		平成22年2月2日	
	調査点数	3		3		3		3	
区分	最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	
種類数	軟体動物門 [20]	3～5	10	2～5	6	2～3	6	0～4	18
	環形動物門 [36]	9～18	29	9～10	17	6～13	17	7～11	6
	節足動物門 [10]	0～6	6	1～2	4	1～3	4	0～4	5
	その他 [8]	2～3	6	2～4	7	0～5	5	0～3	3
	合計 [74]	15～31	51	15～21	34	9～19	32	7～21	32
個体数	軟体動物門	9～18	13	7～51	24	2～3	3	0～7	4
	環形動物門	109～230	151	107～169	130	20～356	145	11～100	65
	節足動物門	0～49	21	1～21	8	1～4	2	0～13	5
	その他	3～6	5	2～7	5	0～6	2	0～5	2
	合計	136～263	190	118～211	167	23～363	152	11～123	76
個組体成数比(%)	軟体動物門	4.9～13.2	6.8	5.9～29.7	14.4	0.8～8.7	2.0	0.0～7.4	5.3
	環形動物門	63.4～87.5	79.5	66.2～90.7	77.8	85.7～98.1	95.4	81.3～100	85.5
	節足動物門	0～28.5	11.1	0.6～10.0	4.8	1.1～4.3	1.3	0.0～10.6	6.6
	その他	2.2～2.9	2.6	1.7～3.5	3.0	0.0～8.6	1.3	0.0～4.0	2.6
湿重量(g)	軟体動物門	0.22～3.85	1.46	0.14～7.87	3.81	0.01～0.06	0.04	0.00～1.82	0.63
	環形動物門	2.53～4.14	3.40	3.18～6.21	4.19	0.81～7.71	3.57	0.25～2.05	1.26
	節足動物門	0.00～0.21	0.10	0.04～1.47	0.50	0.01～1.09	0.39	0.00～0.63	0.23
	その他	0.03～8.89	2.99	3.33～28.67	13.05	0.00～13.50	4.50	0.00～4.51	1.55
	合計	3.01～12.80	7.95	15.23～32.00	21.55	1.91～15.75	8.50	0.25～8.45	3.67
主要種個体数(%)	カタマカ <sup>レ</sup> リキ <sup>ホ</sup> シイソメ 61 (32.1) タケフシコ <sup>カ</sup> イ科の一種 34 (17.9) ヨツパ <sup>ネ</sup> ビ <sup>オ</sup> A型 25 (13.2)	カタマカ <sup>レ</sup> リキ <sup>ホ</sup> シイソメ 71 (42.5) タケフシコ <sup>カ</sup> イ科の一種 26 (15.6) シズ <sup>ク</sup> カ <sup>イ</sup> 21 (12.6)	カタマカ <sup>レ</sup> リキ <sup>ホ</sup> シイソメ 75 (49.3) タケフシコ <sup>カ</sup> イ科の一種 32 (21.1)	カタマカ <sup>レ</sup> リキ <sup>ホ</sup> シイソメ 40 (52.4) タケフシコ <sup>カ</sup> イ科の一種 11 (14.4)					

注1) 個体数、湿重量は0.15㎡当たりで示す。湿重量の+は0.01g未満を示す。

注2) 種類数の平均は総種類数を示す。

注3) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(4-1) 底生生物の経年出現種類数（空港島周辺海域）

年 度	6 1	6 2	6 3	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
春(5月)		30	27	19	14	23	25	20	23	43	21	28	45
夏(8月)		18	25	18	11	18	17	20	25	22	18	38	29
秋(11月)		13	21	23	11	16	17	18	24	22	20	27	24
冬(2月)	23	21	21	21	14	19	19	18	24	23	28	41	38

年 度	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
春(5月)	68	66	63	49	73	78	67	27	69	84	77
夏(8月)	60	43	53	42	59	79	49	42	40	66	66
秋(11月)	67	35	41	40	69	62	54	27	37	44	42
冬(2月)	53	38	50	54	84	66	73	69	36	63	47

(注) 平成10年度までは5地点、平成16年度までは7地点、平成17年度より4地点で調査。

表2-3-5(4-2) 底生生物の経年出現種類数（内部水面）

年 度	18	19	20	21
春(5月)	29	47	45	51
夏(8月)	37	38	35	34
秋(11月)	39	32	47	32
冬(2月)	47	46	51	32

(注) 平成18年度より3地点で調査。

表2-3-5(5-1) 底生生物個体数の地点別経年変化（春季：5月）

調査月：春季 5月

	No. 1											No. 2											
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	
種類数 計	14	15	18	10	10	12	14	6	16	22	14	21	16	12	15	15	11	11	7	19	23	16	
個体数 計	37	123	758	25	54	43	721	20	321	135	33	220	143	96	39	58	93	383	25	198	108	30	
主 要 種	Euchone spp.															5							
	Glycinde属の一種																						
	Gyptis属の一種								3														
	Paraprionospio sp. Type A			512						186													
	Paraprionospio sp. Type B					11					7					9							
	Poecilochaetus sp.	5															9						
	Terebellides属の一種																						
	エーレルシスピオ															4							
	オウギゴカイ								2														
	オカメブンブク	6			10																		
	オトヒメゴカイ科の一種																						3
	カキクモヒトデ																						
	カタマガリギボシイソメ				4						31												
	シズクガイ	12	92	172		21	25	696	12	73	65	11	179	102	70	8	32	80	352	16	166	76	
	スナクモヒトデ科の一種																						
	ダルマゴカイ																				3		
	チマキゴカイ科の一種																						
	チヨノハナガイ																						
ドロヨコエビ																							
ニカイチロリ科の一種																							
ニセタマグシフサゴカイ																							
ヒメカノコアサリ																						8	
ブンブクヤドリガイ科の一種																							
ユンボソコエビ科の一種																							
ヨコヤマキセワタガイ					9																		
星口動物門の一種																							

	No. 3											No. 4											
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	
種類数 計	13	21	13	19	36	34	48	12	44	53	60	14	12	28	18	16	24	26	20	28	33	36	
個体数 計	40	420	104	48	109	91	230	91	150	194	656	144	63	298	68	45	78	461	56	162	400	130	
主 要 種	Euchone spp.				7										74								
	Glycinde属の一種									15													
	Gyptis属の一種																						
	Paraprionospio sp. Type A																						
	Paraprionospio sp. Type B																				20		
	Poecilochaetus sp.																						
	Terebellides属の一種																						28
	エーレルシスピオ																						
	オウギゴカイ																						
	オカメブンブク	5										19	29										
	オトヒメゴカイ科の一種																						
	カキクモヒトデ										205												
	カタマガリギボシイソメ									18	105				26					19			
	シズクガイ	19	311	72	11			46	56			101		112		8	30	300		69	245		
	スナクモヒトデ科の一種						13																
	ダルマゴカイ								14								19						
	チマキゴカイ科の一種						12																
	チヨノハナガイ																		80				
ドロヨコエビ																			6				
ニカイチロリ科の一種														8									
ニセタマグシフサゴカイ									21														
ヒメカノコアサリ																							
ブンブクヤドリガイ科の一種																							
ユンボソコエビ科の一種					20																		
ヨコヤマキセワタガイ				8											5								
星口動物門の一種										43	100												

(注) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(5-2) 底生生物個体数の地点別経年変化 (夏季：8月)

調査月：夏季 8月

	No. 1											No. 2										
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
種類数 計	16	14	14	3	9	9	12	2	13	9	13	6	7	15	10	12	11	11	6	13	9	13
個体数 計	31	175	140	5	34	38	131	2	67	54	49	14	7	39	34	79	12	130	33	22	33	19
主 要 種	Alpheus属の一種																					
	Glycera属の一種																					
	Glycinde属の1～数種				1									4								
	Listriella属の一種																					
	Parapriostosio sp. Type A		138	120					1	26					6							
	Parapriostosio sp. Type B						5															
	Sigambra属の一種					5							1									
	Sthenelasis属の一種													1								
	Sthenolepis spp. (属の一種含む)													1								
	Terebellides属の一種																					5
	イトゴカイ科の一種								1				1									
	ウメノハナガイ																					
	ウミケムシ科の一種										7											5
	オカメブンブク				2							5									4	
	カキクモヒトデ																					
	カタマカリギボシイソメ				2						22	21				6						
	キセワタガイ												1									
	クシカギゴカイ									18					4							
	ケシトリガイ																					
	コノハシロガネゴカイ												1									
	シズクガイ	14				17	26	115			17	7			4	14	63		115	28	4	18
	タケフシゴカイ科の一種																					
	ダルマゴカイ																					
ツメタガイ																						
ドロヨコエビ																						
ニカイチロリ科の一種																						
ハナギンチャク科の一種													1									
ブンブクヤドリガイ科の一種											5											
星口動物門の一種																						
ホトトギスガイ																						
ムシモドキイソギンチャク科の一種													1									
ヨコヤマキセワタガイ																	2					

	No. 3											No. 4											
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	
種類数 計	16	5	8	10	20	37	29	30	14	46	34	10	8	18	18	19	20	19	22	22	30	34	
個体数 計	28	25	16	18	34	135	59	132	107	337	293	38	16	35	58	37	98	71	164	63	355	290	
主 要 種	Alpheus属の一種													1									
	Glycera属の一種					5																	
	Glycinde属の1～数種			3				6	15										8				
	Listriella属の一種														7								
	Parapriostosio sp. Type A																						
	Parapriostosio sp. Type B			2																			
	Sigambra属の一種																						
	Sthenelasis属の一種			2																			
	Sthenolepis spp. (属の一種含む)				5																		
	Terebellides属の一種																					101	
	イトゴカイ科の一種																						
	ウメノハナガイ																	17					
	オカメブンブク	3										22	4										
	カキクモヒトデ							14			82												
	カタマカリギボシイソメ			3		7	14	17			86	82			14	7			20	37	21	141	40
	キセワタガイ		6																				
	クシカギゴカイ			2																9			
	ケシトリガイ																	20					
	コノハシロガネゴカイ																						
	シズクガイ	4	14	2	4					88		6	5			10					9	142	
	スミスシラケガイ										54												
	タケフシゴカイ科の一種							6															
	ダルマゴカイ								15												27		
ツメタガイ												2											
ドロヨコエビ							14							23					48				
ニカイチロリ科の一種															4								
ハナギンチャク科の一種																							
ブンブクヤドリガイ科の一種																							
星口動物門の一種							18			48	35												
ホトトギスガイ																							
ムシモドキイソギンチャク科の一種																							
ヨコヤマキセワタガイ		3		2																			

(注) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(5-3) 底生生物個体数の地点別経年変化（秋季：11月①）

調査月：秋季 11月

	No. 1											No. 2										
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
種類数 計	15	9	8	6	7	2	12	7	2	6	5	9	6	9	4	10	3	15	1	7	10	8
個体数 計	90	832	9	20	47	3	22	286	2	19	8	35	11	11	7	11	3	20	3	10	43	9
Alpheus属の一種																						
Glycinde属の一種			1				3											2				
Lionopherus属の一種									1													
Mediomastus属の一種																						
Paraprionospio sp. Type A	40	808	2	2				236														
Paraprionospio sp. Type B	24			14			7			1	4	2						2				
Sthenelasis属の一種																		2				
Sthenolepis spp.												13	5		4							
Sthenolepis属の一種									4											2		
アカウオ																	1					
イカリナマコ科 spp.														2								
イカリナマコ科の一種																						
ウロコムシ科の一種																						1
エーレルシスピオ																					1	
オカメブンプク																				1		2
カタマガリギボシイソメ			1							1												
カドソコシラエビ																	1					1
ギセワタガイ																						1
キタクムシ科の一種																						
クシカギゴカイ			1												1							
クチキレガイ																				1		
クビナガスガメ																						
ゴカイ科の一種							1															
コノハシロガネゴカイ																						
サシバゴカイ科の数種			1																			
サンカクフジツボ																						
シズクガイ			1		39	2				2										3		
シマメノウフネガイ																						
スミスシラゲガイ																						
ソコシラエビ			1																			
ダルマガカイ																		2				
ツガイ																	1			1		
ツバサゴカイ科の一種										1					1							1
ツメタガイ														2								
ドロヨコエビ																						
ノラリウロコムシ科の一種											3											1
ハナギンチャク科の一種									1													
ヒメカノコアサリ										11	10					2		2			31	
ヒメムツアシガニ																				1		
紐形動物門 spp.			1																			1
ブンプクヤドリガイ科の一種																				3		1
星口動物門の一種																						
ホトトギスガイ																						
マメウラシマガイ															1							

(注) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(5-3) 底生生物個体数の地点別経年変化（秋季：11月②）

調査月：秋季 11月

	No. 3											No. 4										
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
種類数 計	16	5	11	10	31	30	30	18	21	31	19	17	2	7	11	7	10	22	18	14	23	21
個体数 計	44	13	31	14	84	89	153	30	86	547	444	132	8	9	23	12	68	68	59	23	92	145
Alpheus属の一種														1								
Glycinde属の一種							16														3	
Lionopherus属の一種																					3	
Mediomastus属の一種						10																
Paraprierospio sp. Type A																52						
Paraprierospio sp. Type B			9																22			
Sthenelasis属の一種																						
Sthenolepis spp.	6	8		2									7									
Sthenolepis属の一種																						
アカウオ																						
イカリナマコ科 spp.														2	3							
イカリナマコ科の一種																					3	
ウロコムシ科の一種																						
エーレルシスピオ																						
オカメブンブク												27		1								
カタマガリギボシイソメ					10			6		103	304				7			9	9	3	23	35
カドソコシラエビ				3																		
キセワタガイ																						
キタクムシ科の一種				2																		
クシカギゴカイ														1								
クチキレガイ																						
クビナガスガメ																	4					
ゴカイ科の一種																2						
コノハシロガネゴカイ																						
サシバゴカイ科の数種																						
サンカクフジツボ					18																	
シズクガイ	9	2	4									60	1									
シマメノウフネガイ							24															
スミスシラゲガイ							59		47	250												
ソコシラエビ																						
ダルマガカイ																						
ツガイ																						
ツバサゴカイ科の一種																						
ツメタガイ																						
ドロヨコエビ																		14				
ノラリウロコムシ科の一種																						
ハナギンチャク科の一種																						
ヒメカノコアサリ	12		5							57						3					32	
ヒメムツアシガニ																						
紐形動物門 spp.															1							
ブンブクヤドリガイ科の一種												14		1								
星口動物門の一種						9																
ホトトギスガイ																						61
マメウラシマガイ	5																					

(注) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(5-4) 底生生物個体数の地点別経年変化（冬季：2月①）

調査月：冬季 2月

	No. 1											No. 2										
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
種類数 計	5	8	15	9	17	13	8	14	7	14	8	8	9	10	4	10	17	18	6	8	10	9
個体数 計	11	289	30	18	45	47	15	283	9	65	13	15	39	14	5	22	32	28	9	9	21	15
Corophium属の一種																						
Euchone属の一種																						
Glycinde属の1～数種																						
Parapriospio sp. Type A	7	267		2	10			256	1													
Parapriospio sp. Type B			5	9		12			2	15	5				1					1		
Prinospio属の一種																						
Pseudopolydora属の一種									2											1		
Sthenelasis属の一種														5								
Sthenolepis spp. (属の一種含む)												5	7			6						
Syncheliidum属の一種																			1			
アカウオ																					1	
イカリナマコ科の1～数種																						
イトゴカイ科の一種																						
ウミイサゴムシ																					2	
エーレルシスビオ																					1	
オウギゴカイ							2		1							4			1			
オカメブンプク																						
カタマガリギボシソメ			9							21												
カドソコシラエビ															1							
キセワタガイ																						2
クシカギゴカイ																			1			3
クシノハクモヒトデ																						
コノハシロガネゴカイ																			3			
サンカクフジツボ																						
シズクガイ					7	13	7		1				8		2	3	13	6	3	1		
スナクモヒトデ科の一種																						
チヨノハナガイ																				1		
ツガイ																				2		
ドロヨコエビ																						
ノラリウロコムシ科の一種										2												4
ハナムシロガイ			3																			
ヒメカノコアサリ												4										8
紐形動物門の一種															1							
ブンプクヤドリガイ科の一種													16							1		
星口動物門の一種																						
ムラサキハナギンチャク									1													
ユンボソコエビ科の一種																						
ヨコヤマキセワタガイ									1													
ラスパンマメガニ																					1	

(注) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(5-4) 底生生物個体数の地点別経年変化（冬季：2月②）

調査月：冬季 2月

	No. 3											No. 4										
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
種類数 計	14	8	14	16	45	29	56	60	16	47	36	7	7	17	21	19	14	14	20	17	21	13
個体数 計	58	31	31	28	130	67	181	332	32	403	185	53	52	76	336	37	40	33	81	34	85	35
Corophium属の一種			6																			
Euchone属の一種			4										42									
Glycynde属の1～数種				3													5	5				
Parapriionospio sp. Type A																240						
Parapriionospio sp. Type B															15		13		36			6
Prinospio属の一種				3																		
Pseudopolydora属の一種																						
Sthenelasis属の一種			4																			
Sthenolepis spp. (属の一種含む)	6	14		4								6										
Syncheliidium属の一種																						
アカウオ																						
イカリナマコ科の1～数種														12								
イトゴカイ科の一種																						4
ウミイサゴムシ										58												
エーレルシスビオ																						
オウギゴカイ				3																		
オカメブンプク												23										
カタマカリギボシソメ									12	80	19			15				14		16	18	10
カドソコシラエビ																						
キセワタガイ																						
クシカギゴカイ																						
クシノハクモヒトデ			4																			
コノハシロガネゴカイ	8																					
サンカクフジツボ					33																	
シズクガイ	15	8				8																
スナクモヒトデ科の一種										43												
チヨノハナガイ						7																
ツガイ																						
ドロヨコエビ														21								
ノラリウロコムシ科の一種																						
ハナムシロガイ																						
ヒメカノコアサリ	15					12										34					15	
紐形動物門の一種											20											
ブンプクヤドリガイ科の一種												18										
星口動物門の一種							43			80	25											
ムラサキハナギンチャク																						
ユンボソコエビ科の一種					14		24	53			33											
ヨコヤマキセワタガイ																						
ラスパンマメガニ																						

(注) 主要種は各調査点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

表2-3-5(6) 漁業生物の調査結果

[平成21年度]

項目		季節	春季		夏季		秋季	
		調査日	平成21年5月13日		平成21年8月6日		平成21年11月11日	
		調査点数	4		4		4	
区分		最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	最小値～最大値	平均値	
種類数	魚類 [14]	1～6	7	1～4	7	3～6	8	
	甲殻類(エビ・カニ類) [10]	1～4	4	2～6	8	4～7	9	
	頭足類(イカ・タコ類) [3]	0～1	2	1～1	3	0～1	1	
	その他 [0]	0～0	0	0～0	0	0～0	0	
	合計 [27]	3～8	13	6～11	18	8～11	18	
個体数	魚類	1～8	4	6～22	14	6～7	7	
	甲殻類(エビ・カニ類)	1～24	10	8～139	69	8～16	12	
	頭足類(イカ・タコ類)	0～2	1	1～2	1	0～1	0	
	その他	0～0	0	0～0	0	0～0	0	
	合計	3～27	15	15～163	64	15～23	19	
湿重量 (g)	魚類	16.6～1184.7	391.1	32.2～172.7	94.5	135.7～1204.1	659.3	
	甲殻類(エビ・カニ類)	2.4～62.2	23.6	53.5～475.9	383.1	24.3～453.0	200.7	
	頭足類(イカ・タコ類)	0.0～215.5	80.0	15.0～401.3	120.9	0.0～232.5	58.1	
	その他	0.0～0.0	0.0	0.0～0.0	0.0	0.0～0.0	0.0	
	合計	122.4～1402.6	494.7	110.9～966.2	598.5	164.1～1657.1	918.1	
主要種 個体数(%)		サルエビ 4 (26.7)		アカエビ 56 (87.5)		トラエビ 4 (21.1)		
		トラエビ 3 (20.0)		テンジクダイ 8 (12.5)		ヨシエビ 2 (10.5)		
		アカエビ 3 (20.0)				アカエビ 2 (10.5)		
						タマガンゾウウヒラメ 2 (10.5)		
						シヤコ 2 (10.5)		

注1) 個体数、湿重量は1網当りで示す。

注2) 種類数の平均は総種類数を示す。また、[ ]内の数値は年間を通しての総種類数を示す。

注3) 主要種は各測定点での個体数の上位5種のうち、組成比率が10%以上のものを示す。

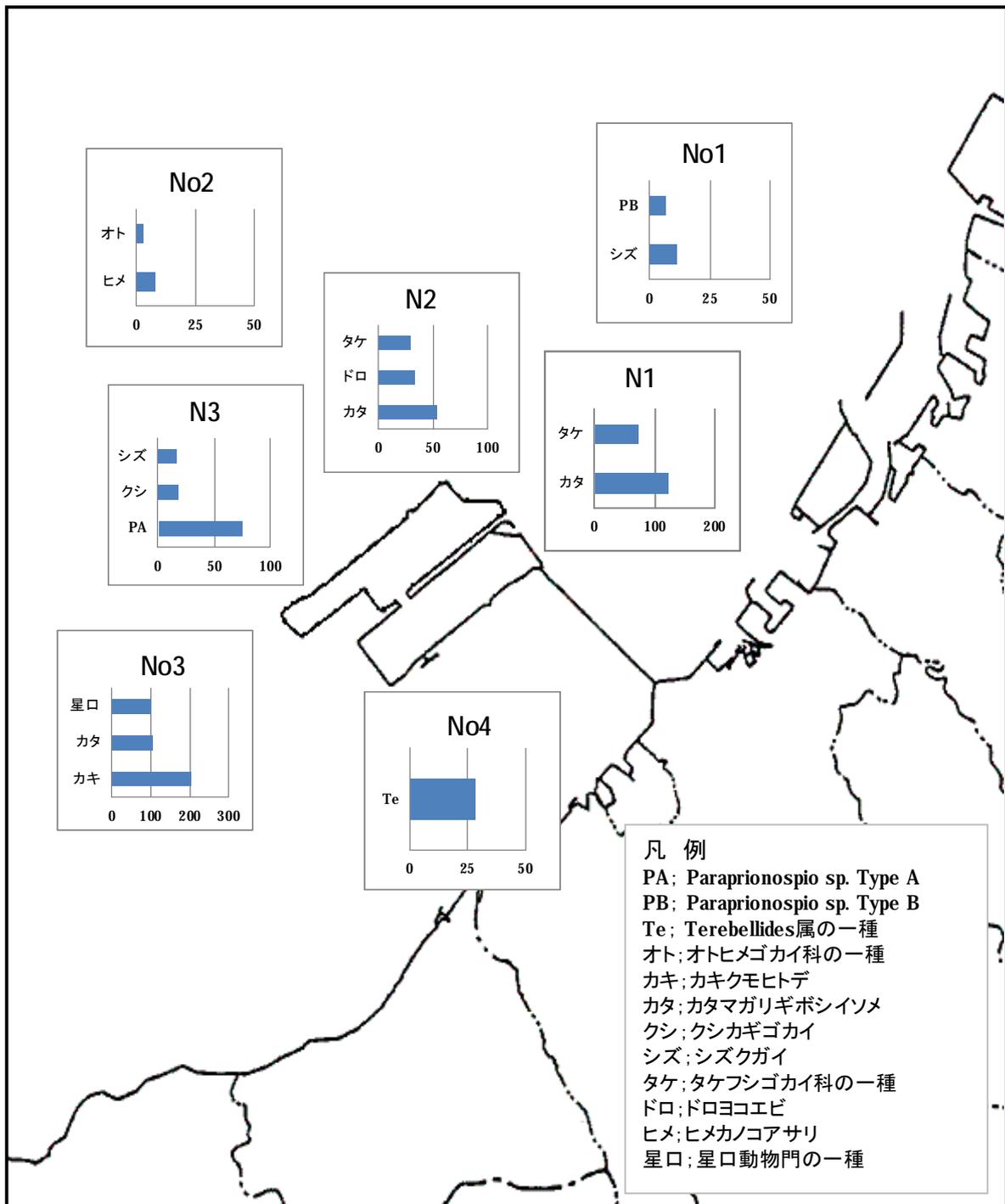


図2-3-5(1-1) 底生生物の地点別出現個体数(春季：5月)

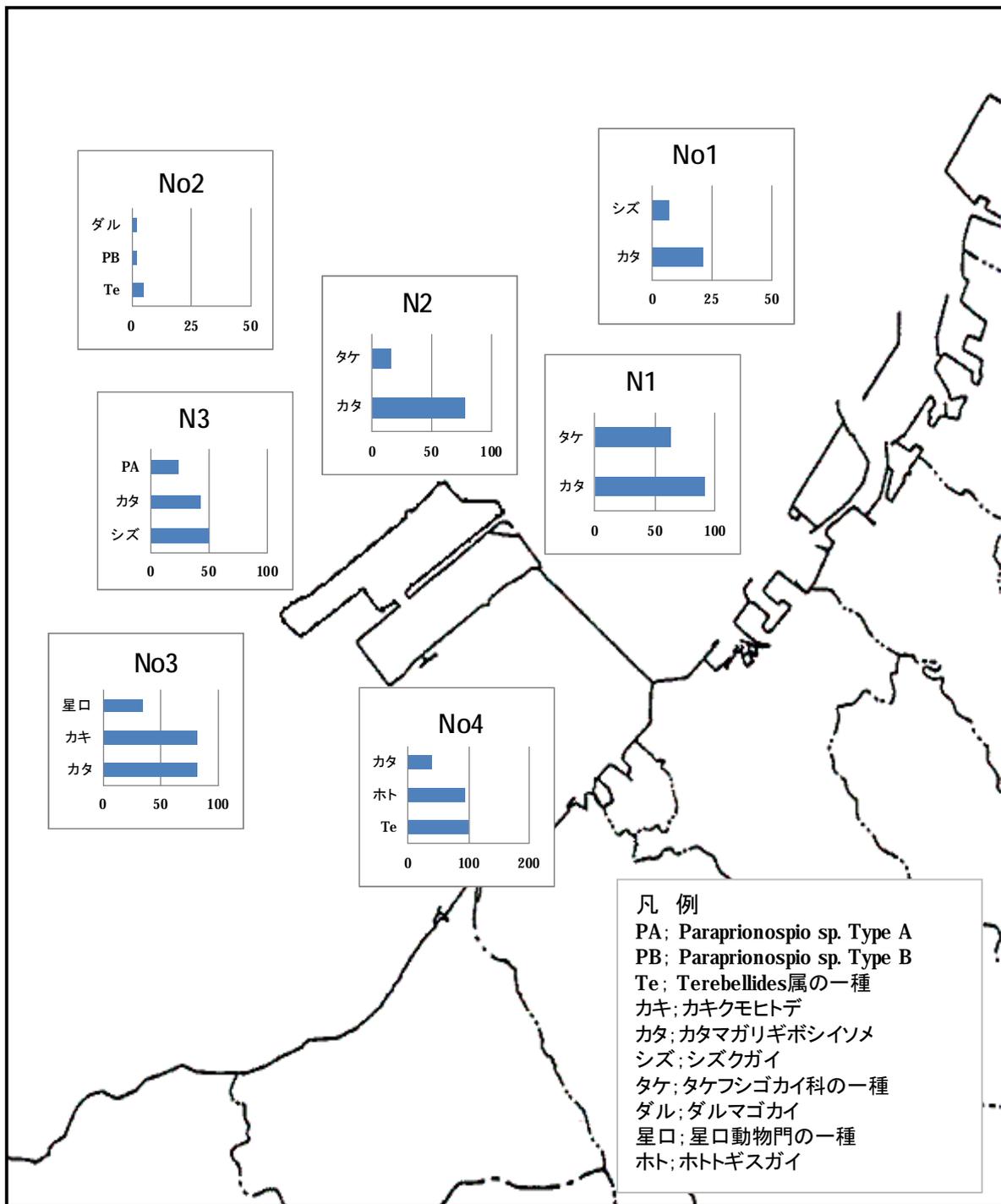


図2-3-5(1-2) 底生生物の地点別出現個体数(夏季：8月)

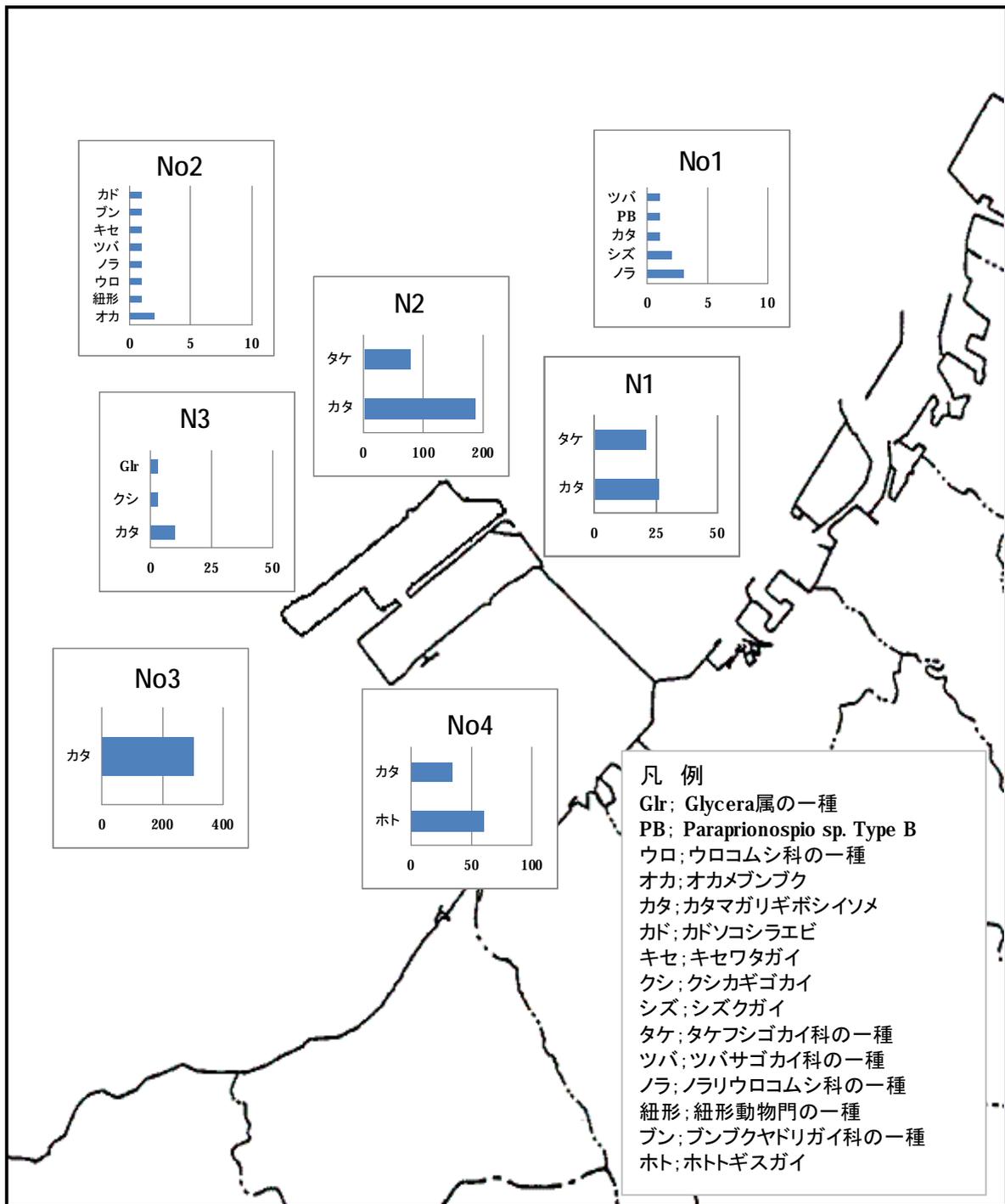


図2-3-5(1-3) 底生生物の地点別出現個体数(秋季：11月)

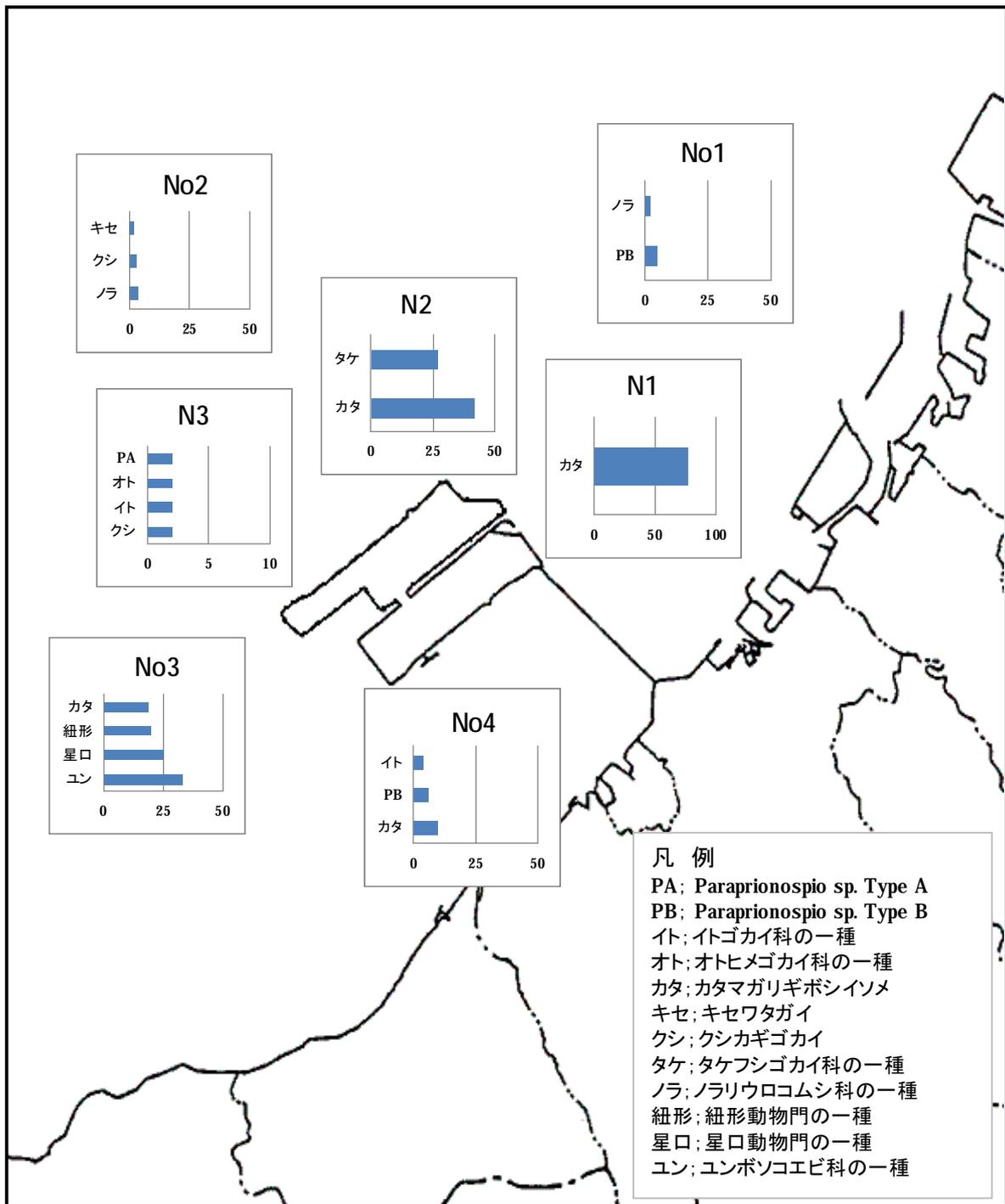
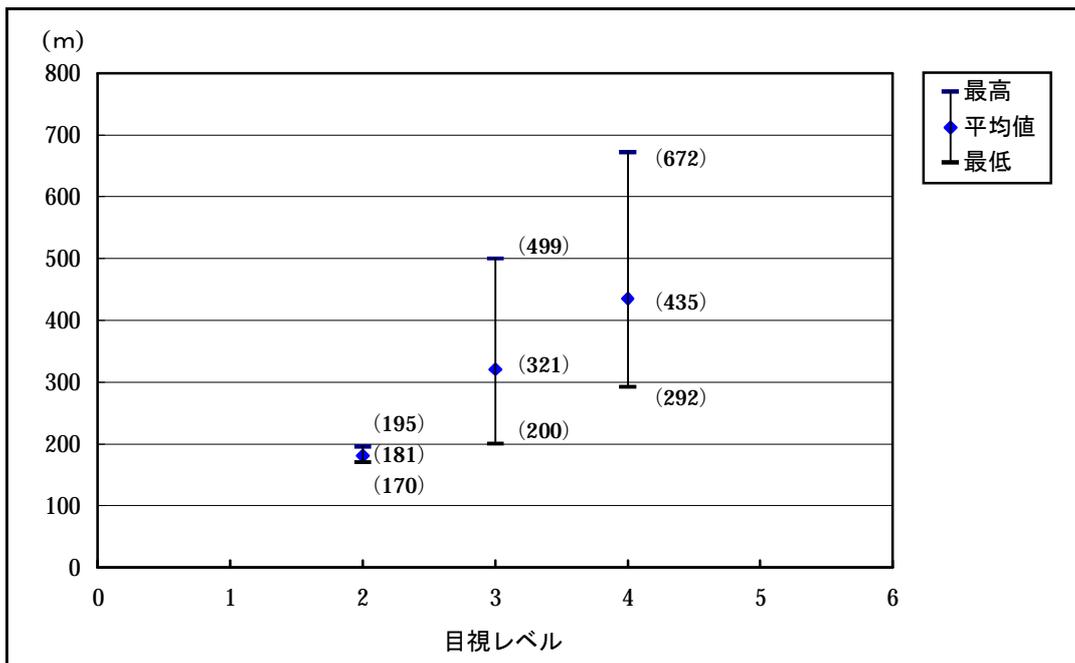


図2-3-5(1-4) 底生生物の地点別出現個体数(冬季：2月)



- 注 1. タカ類が渡り調査時の調査定点に最も接近、あるいは概ね基線を通過した際の高度で比較。  
 2. 得られた39例のデータのうち、目視高度レベルと飛行高度結果が不自然と考えられる1例のデータは除外。  
 3. 観測は、9月20日、9月21日、10月29日、10月30日に実施。

図2-3-6 タカ類の目視による飛行高度（5段階：本編P35）とデジタル測風経緯儀で観測した飛行高度の比較